

2016年3月期（平成28年3月期）

通期決算報告

説明資料

2016年5月12日（木）



URL <http://www.nissin.com>

証券コード 2897

 **日清食品ホールディングス株式会社**

2016年3月期 通期決算報告 説明資料 目次

サイト番号

	《2015年度 レビュー》	
3.	通期総括	
4.	通期実績 サマリー	
5.	セグメント別 売上実績	
6.	セグメント別 営業利益実績	
7.	通期営業利益 増減要因分析	
8.	営業外損益・特別損益・当期純利益	
9.	財務政策・資本政策 (1)	
10.	財務政策・資本政策 (2)	
11.	国内事業総括 (1)	
12.	国内事業総括 (2)	
13.	海外事業総括 (1)	
14.	海外事業総括 (2)	
	《2016年度 経営方針》	
16.	経営方針	
	《2016年度 事業計画》	
18.	事業計画サマリー	
19.	セグメント別 売上計画	
20.	セグメント別 利益計画	
21.	通期営業利益 増減要因分析	
22.	投資計画	
23.	株主還元方針、キャッシュフロー計画	
24.	コーポレートガバナンスを意識した経営	
	《APPENDIX》	
27.	15年度通期営業利益 増減要因分析 (国内・海外)	
28.	16年度通期営業利益 増減要因分析 (国内・海外)	
29.	16年度フォーカスポイント～ 国内～	コアブランドの強化と収益力の向上
30.	16年度フォーカスポイント～ 国内～	新価値提案と成長市場への提案力強化
31.	16年度フォーカスポイント～ 海外～	成長セグメントへの経営資源の分配
32.	16年度国内事業 経営方針 (1)	
33.	16年度国内事業 経営方針 (2)	
34.	16年度国内事業 経営方針 (3)	
35.	16年度海外事業 経営方針 (1)	
36.	16年度海外事業 経営方針 (2)	
補足資料		ページ
	2015年度業績と2016年度計画	1
	連結損益計算書	2
	セグメント別業績	3-4
	連結期間等	5
	営業利益の増減要因	6
	為替レート等	7-8
	連結貸借対照表(四半期)	9
	連結損益計算書(四半期)・連結キャッシュフロー計算書(四半期)	10
	主要経営指標(年間)	11
	前中期経営計画2015(2013年4月発表)ダイジェスト結果	12
	新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト	13
	ヒストリカルデータ	14-15
	主な日清食品グループ海外進出企業	16
	IR関連リリース・トピックス	17
	即席めん業界資料	18-20
	国内各事業の市場データ	21

2016年3月期
通期決算報告
(2016年5月12日)

 **日清食品ホールディングス株式会社**

(2897)

EARTH FOOD CREATOR



(ご参考) 資料の表記について

1

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算説明会資料」に掲載しています。
<http://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等があわない場合があります。
- 国内事業会社は原則として、2015年4月1日～2016年3月31日を「2015年度」とします。
- 海外エリアは原則として、2015年1月1日～2015年12月31日を「2015年度」とします。
 - ※米州地域(コロンビアを除く)は、2015年4月～2016年3月31日を「2015年度」とします。
 - ※中国地域は、2015年4月～2016年3月を「2015年度」とします。
 - ※インド事業は2016年度から決算期変更により、2016年4月～2017年3月が「2016年度」となります。
- 新規連結等に関して
 - ※ぼんち(株)は、2015年度 期末からBS連結、2016年度 第1四半期からPL連結。
 - ※ブラジル日清は、2015年度 第3四半期から新規連結
 - ※インドネシア日清は2016年度 第1四半期から新規連結。
- 売上・利益の「増減率」は決算短信と同じ±%表記を適用しています。
- 資料中の三角表記について: 絶対値のマイナスは△、増減のマイナスは▲で表記しています。
- 海外の関連会社の収益・費用は累計期間の期中平均為替レートを適用しています。
- 「スライドNo.」は右上に付記しています。

EARTH FOOD CREATOR





2015年度 レビュー

2015年度 日清食品グループ 通期総括

経営テーマ

1. グループ連結売上高 過去最高の更新を目指す。
2. グループ力強化のため、コスト増を吸収し増益を目指す。

国内

- 即席めん事業の価格改定のスムーズな浸透（価格改定：2015年1月実施）
- コアブランドへのマーケティング投資
 - ✓ ‘カップヌードル’、‘どん兵衛’、‘一平ちゃん夜店の焼そば’などのコアブランドの強化
- 成長市場、新規カテゴリーへのマーケティング投資
 - ✓ ‘カップヌードル ライトプラス’、‘低糖質麺’の発売・育成
 - ✓ 成長するグラノーラ市場への商品提案力強化‘ごろっとグラノーラ’

海外

- ブラジル事業の完全子会社化
- 中国の大陸事業における‘合味道’の販売強化とエリア拡大
- インドにおける自主回収

その他

- グローバル成長を支える人材の採用・育成強化
- グループインフラ(ERP)の稼働

- 売上高 : 過去最高の売上高を更新
- 営業利益 : 2015.11.12公表の修正計画260億円を達成
- 親会社株主に
帰属する 当期純利益 : 2015.11.12公表の修正計画250億円を達成

	2015年度			前期 通期実績	2015年度 修正計画	(参)2015年度 期初計画
	通期実績	前期比	修正計画比			
売上高(億円)	4,681	+8.5%	+0.0%	4,316	4,680	4,680
営業利益(億円)	264	+8.6%	+1.5%	243	260	245
経常利益(億円)	307	△6.8%	△2.4%	330	315	300
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	269	+45.3%	+7.5%	185	250	200
営業利益率	5.6%	+0.0pt	+0.1pt	5.6%	5.6%	5.2%
経常利益率	6.6%	△1.1pt	△0.2pt	7.6%	6.7%	6.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	5.7%	+1.5pt	+0.4pt	4.3%	5.3%	4.3%
ROE	7.4%	+2.1pt	-	5.3%	-	5.4%

EARTH FOOD CREATOR

NISSIN
GROUP

2015年度 日清食品グループ セグメント別 売上実績

- 国内事業 : 183億円の増収、前期比 +5.3%で着地
- 海外事業 : 182億円の増収、前期比 +22.0%で着地

(為替影響、ブラジルの新規連結含む)

(億円)

	2015年度 通期実績	2015年度 期初計画	対期初計画増減額/率		前期 通期実績	対前期増減額/率	
日清食品	2,236	2,227	+9	+0.4%	2,158	+78	+3.6%
明星食品	416	416	+0	+0.0%	392	+24	+6.2%
即席めん事業計	2,652	2,643	+9	+0.3%	2,550	+103	+4.0%
低温事業	598	572	+26	+4.6%	566	+32	+5.6%
菓子・飲料事業	386	387	▲1	▲0.3%	343	+43	+12.5%
その他	35	31	+4	+14.0%	30	+6	+19.7%
国内計	3,671	3,633	+38	+1.1%	3,488	+183	+5.3%
米州地域	483	413	+70	+16.9%	357	+125	+35.1%
中国地域	409	469	▲60	▲12.8%	345	+64	+18.5%
アジア地域	72	106	▲34	▲32.1%	78	▲6	▲8.0%
EMEA地域	46	59	▲13	▲22.3%	47	▲1	▲2.1%
海外計	1,009	1,047	▲38	▲3.6%	828	+182	+22.0%

※修正計画は個別セグメント別に公表していないため、2015年度の売上計画は期初計画を表示しています。

EARTH FOOD CREATOR

NISSIN
GROUP

- 国内事業 : 11億円の増益、前期比 +4.0%で着地
- 海外事業 : 12億円の増益、前期比 +76.0%で着地
- グループ全体 : 21億円の増益、前期比 +8.6%で着地

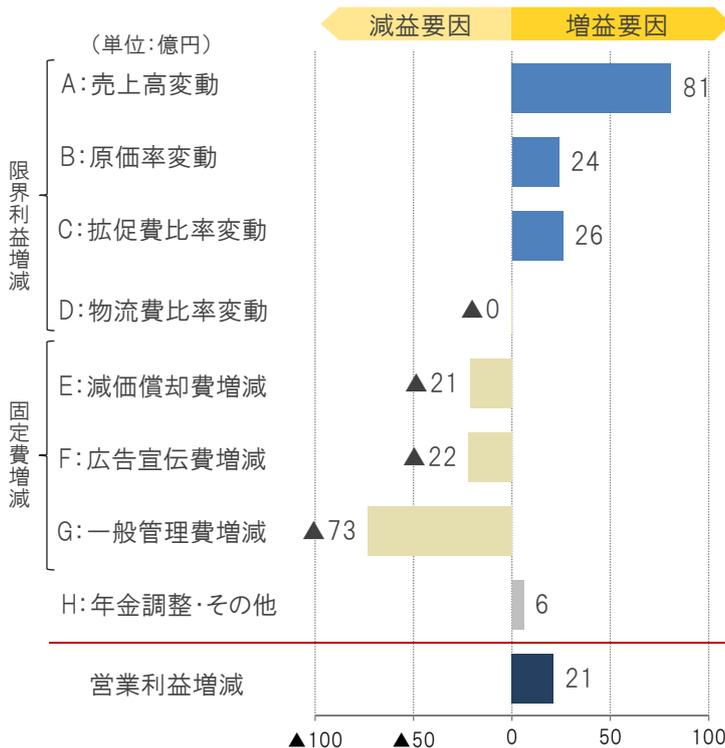
(億円)

	2015年度 通期実績	2015年度 期初計画	対期初計画増減額/率		前期 通期実績	対前期増減額/率	
日清食品	240	206	+34	+16.3%	236	+3	+1.4%
明星食品	14	8	+6	+71.7%	14	▲1	▲3.6%
即席めん事業計	253	214	+39	+18.4%	251	+3	+1.1%
低温事業	7	3	+4	+138.5%	△2	+9	-
菓子・飲料事業	13	17	▲4	▲23.7%	13	▲0	▲1.3%
その他	△2	14	▲16	-	△1	▲1	-
国内計	272	248	+24	+9.5%	261	+11	+4.0%
米州地域	11	5	+6	+112.0%	7	+4	+60.1%
中国地域	41	41	+0	+1.1%	33	+9	+26.4%
アジア地域	△20	△18	▲2	-	△22	+2	-
EMEA地域	△4	△2	▲2	-	△1	▲2	-
海外計	28	26	+2	+8.8%	16	+12	+76.0%
調整額	△36	△29	▲7	-	△34	▲2	-
営業利益計	264	245	19	+7.8%	243	+21	+8.6%
(退職給付会計の影響を除く)	247	226	21	+9.3%	232	+15	+6.3%

※修正計画は個別セグメント別に公表していないため、2015年度の営業利益計画は期初計画を表示しています。

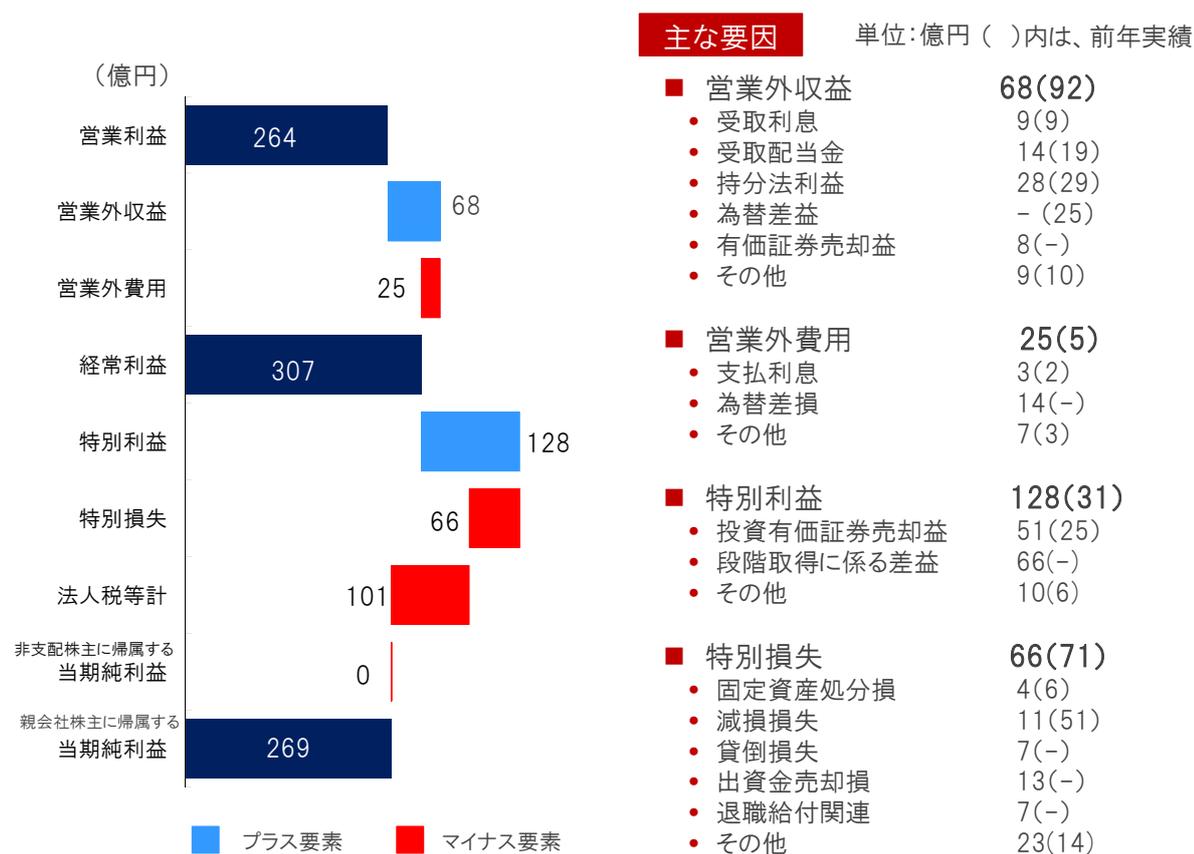
2015年度 日清食品グループ 通期営業利益 増減要因分析

営業利益 264億円(前期比+21億円)



- 売上高変動
 - + 日清食品、明星食品の価格改定効果、販売数量増
 - + 国内事業会社の売上増
 - + 中国の売上増(為替影響含む)、ブラジルの新規連結
 - 日清食品 オープンプライス化による売上減
- 原価率変動
 - + 即席めん事業の価格改定効果による原価率改善
 - + 明星食品 生産体制効率化による労務費・燃料費減
 - + 海外の原材料安
 - 国内の原材料高騰による影響
 - 日清食品 オープンプライス化による原価率上昇
- 拡促費比率変動
 - + 日清食品 オープンプライス化による拡促費率低下
 - 香港の拡販費増加
- 減価償却費増減
 - ERP、明星埼玉工場、ブラジル新規連結の影響
- 広告宣伝費増減
 - 日清食品、明星食品、日清シスコのTVCM費増加
- 一般管理費増減
 - ホールディングスの人件費増、経費の増加
 - 米州地域(為替、人件費増等)、ブラジル新規連結)
 - 中国地域(為替、人件費増等)
 - のれん償却費の増(ブラジル新規連結等)

【増減要因の算出法】 ①変動費(A,B,C,D)=(今期の売上× 前期の売上高比率) - 今期費用 ②固定費(E,F,G)=(前期-今期)費用



投資計画

設備投資

(方針)

- 成長セグメント・成長エリアでの生産能力拡充
- 生産の効率化、コスト削減のための設備投資
- 安全安心を確立するための設備投資
- グループインフラの強化

(主な設備投資)

- 明星食品 埼玉第2工場
- 日清シスコ グラノーラライン増設
- 日清ヨーク 関東新工場
- 中国新工場(東莞、福建、香港、浙江)
- グローバル食品安全研究所 究理棟 等

(2015年度計画) 382億円

(2015年度実績) 328億円

3か年累計 833億円

事業投資

(方針)

- グループ成長を加速するM&A案件など、国内・海外の競争力強化のための投資を適宜検討

(主な投資実績)

- ブラジル事業 完全子会社化
- ぼんち(株)への出資比率引き上げ

(中計3か年計画) 650億円

(2015年度実績) 331億円

3か年累計 411億円

減価償却費

(主な増加要因)

- 日清シスコ グラノーラライン、明星食品 埼玉第2工場
- ブラジル新規連結、中国 等

(2015年度計画) 178億円

(2015年度実績) 175億円

(参考)2014年度実績 154億円

株主還元施策

(方針)

- ① 配当 … 連結配当性向40%以上
- ② 自己株式取得…必要に応じ適宜自己株式取得を検討。ROEを意識した経営

(実績)

- ① 配当 … 当初計画通り 1株当たり年間80円を配当予定(上期:40円、下期:40円)

(2015年度配当計画)	80円/1株	総額 87億円
(2015年度配当予定)	80円/1株	

- ② 自己株式取得 … 2015年12月3日 自己株式立会外取引(TosTNet-3)による自己株式の取得
 (取得理由) 資本効率の向上を図るため
 (取得した株式の種類) 当社普通株式
 (取得した株式の総数) 2,214,500株
 総額 142億円

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
配当性向	43.8%	42.9%	44.7%	32.6%
総還元性向	43.8%	42.9%	44.7%	85.2%

※ブラジル日清の完全子会社に伴う「特別利益」計上等により、「親会社株主に帰属する当期純利益」が膨らんだため、配当性向は当初方針の40%を下回ったが、自己株式取得を実施したことで、総還元性向は80%を超える水準で着地



2015年度 国内事業総括 (1)

即席めん事業

価格改定のスムーズな浸透

- 日清食品 … 前期比 / 売上 +3.6% 営業利益 +1.4%
 - ✓ 即席めん事業 過去最高売上高を更新(過去最高値は2003年度実績)
 - ✓ 100年ブランドカンパニーに向けた消費者コミュニケーション強化
 広告宣伝(TVCM、WEB広告、SNS)効果の最大化 / ‘カップヌードル’シリーズ、‘どん兵衛’シリーズの売上拡大
 - ✓ 新たな価値の提案 / ‘カップヌードル ライトプラス’発売
- 明星食品 … 前期比 / 売上 +6.2% 営業利益 △3.6%
 - ✓ 主力ブランドの徹底強化 / ‘一平ちゃん夜店の焼そば’、‘チャルメラ(袋)’の売上拡大
 - ✓ 新コンセプト商品の開発と育成 / ‘低糖質麺’シリーズの発売
 - ✓ 効率化を追求した生産工場の刷新(埼玉第2工場)
 - ✓ 広告宣伝強化によるブランド認知度アップ

(参考) 明星食品グループ売上高

	2015年度 通期実績	15/14増減		前期 通期実績
		額	率	
明星食品グループ	478	+38	+8.7%	439
(セグメント間取引)	(62)	(+14)	(+29.4%)	(48)
明星食品G 消去後	416	+24	+6.2%	392

低温事業

チルド・冷凍ともに増収・増益

- 日清食品チルド … 前期比 / 売上 +6.1% 営業利益 増益
 - ✓ 付加価値ブランドの徹底強化
 ‘行列のできる店のラーメン’ / 品質訴求の徹底
 ‘太麺焼そば’ / 品質強化、TVCMの投入
- 日清食品冷凍 … 前期比 / 売上 +5.4% 営業利益 増益
 - ✓ 成長カテゴリーへの集中 / ‘スパ王’、‘もちっと生パスタ’、‘具多辣椒担々麺’、‘汁なし中華麺’の売上拡大
 - ✓ 新チャネルの開拓 / CVSとの取り組み強化



菓子・飲料事業

シスコ・ヨークともに売上前期比2桁増

- 日清シスコ … 前期比 / 売上 +12.6% 営業利益 減益
成長事業(シリアル)と創業事業(菓子事業)の両輪による成長
 - ✓ ‘ごろっとグラノーラ’の売上拡大 / カバー率の拡大、広告宣伝による認知度アップ
 - ✓ 生産能力の各拡大 / グラノーララインの増設(7月～)
 - ✓ ‘コナッツサブレ’50周年キャンペーンの成功
- 日清ヨーク … 前期比 / 売上 +12.3% 営業利益 大幅増益
 - ✓ ‘ピルクル’の売上拡大 / 特保訴求による売上拡大と‘ピルクル1.3倍’売上寄与
 - ✓ ‘十勝のむヨーグルト’の売上拡大 / フレーバー展開とカバー率拡大
 - ✓ PBの取り組み強化

国内その他

- ✓ グループ人材強化のための中途採用強化、グローバル人材の育成強化
- ✓ グループ共通システム(ERP)の導入
- ✓ 組織構造の強化
- ✓ 研究設備の充実

米州地域

ブラジルの連結効果で、米州地域 増収・増益

- アメリカ … 前期比 / 売上 前年並み 営業利益 減益 (現地通貨ベース)
 - ✓ 既存商品(‘TOP RAMEN’、‘CUP NOODLES’)の収益性維持
 - ✓ 高付加価値商品の育成
- メキシコ … 前期比 / 売上 増収 営業利益 増益 (現地通貨ベース)
 - ✓ 税制改正(IEPS)の影響からの脱却
- ブラジル事業の新規連結(味の素社の持分50%を取得) … 2016年3月期第3四半期から新規連結
 - ✓ インフレ経済、GDPマイナス成長で市場は縮小傾向
 - ✓ 価格改定の実施(2月 / レアル安、インフレによる原材料コストの急増に対応)
⇒ 営業利益率の大幅改善

中国地域

即席めん市場が縮小する中、中国地域 増収・増益

- 香港 … 前期比 / 売上 +0.4% 営業利益 増益 (現地通貨ベース)
 - ✓ 大陸からの観光客の減少で、香港経済は停滞するものの、当社は前年の売上を維持
- 大陸 … 前期比 / 売上 +8.6% 営業利益 増益 (現地通貨ベース)
 - ✓ 華南エリアで価格改定を実施 / ‘合味道’ 小売価格 5.0元 ⇒ 5.5元
 - ✓ 営業所網の拡大
 - 60都市への展開完了(2014.12)
 - 営業拠点の拡大 / 34営業所(2016.3時点) ← 30営業所(2015.3)

アジア地域

インドでの製品自主回収の影響も響き、アジア地域 減収・減益

- シンガポール
 - ✓ ‘CUP NOODLES’のコンポジットカップ化(6月)と新フレーバーの投入
 - ✓ 「Cup Noodles 12 Girls Campaign」による露出の拡大
- インド
 - ✓ 大都市における‘CUP NOODLES’の売上拡大
 - ✓ ‘TOP RAMEN’自主回収(6月末に自主回収、8月末に再店頭化)の影響軽減・回復へ注力
⇒ 直近では、自主回収前を上回る販売実績を記録
- タイ
 - ✓ 自社営業体制による店舗開拓強化
 - ✓ ‘CUP NOODLES’のエコカップ化と価格改定による利益強化
- ベトナム
 - ✓ 重点エリアへの営業力集中による効率の改善

EMEA地域

トルコでの苦戦とマーケティング投資により、EMEA地域 減収・減益

- 欧州 … 前期比 / 売上 +8.6% 営業利益 減益 (現地通貨ベース)
 - ✓ ‘Soba’、‘CUP NOODLES’の販売エリア拡大とマーケティング投資
 - ✓ 英国プレミアフーズへの出資 ※参考(2016.4.22 Relationship Agreement締結)
- トルコ … 前期比 / 売上 ▲34.2% 営業利益 減益 (現地通貨ベース)
 - ✓ ‘MakarNeks’カップの発売、広告宣伝の実施

2016年度経営方針

新中期経営計画の初年度として、スタートダッシュを図る

国内

- コアブランドの強化と収益力の向上
- 新価値提案と成長市場への提案力強化

海外

- 成長セグメントへの経営資源の配分
 - ✓ 中国地域における生産体制の強化
 - ✓ ブラジルマーケットにおける‘カップめん市場’の創造・育成
- インドでの自主回収の影響の早期解消と売上拡大

その他

- グローバル人材の育成
- コーポレート・ガバナンスを意識した経営

告知事項

- 会計方針の変更（国内の減価償却方法を定率法から定額法に変更）
- 退職給付債務計算の割引率の変更等

2016年度
事業計画

日清食品グループ初の連結売上高 **5,000億円** を目指す

	事業計画	前期比	前期実績
売上高(億円)	5,000	+6.8%	4,681
うち 海外売上高	1,162	+15.1%	1,009
営業利益(億円)	270	+2.3%	264
経常利益(億円)	310	+0.9%	307
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	220	▲18.2%	269
営業利益率	5.4%	▲0.2pt	5.6%
経常利益率	6.2%	▲0.4pt	6.6%
当期純利益率	4.4%	▲1.3pt	5.7%

- ぼんち(株)の新規連結
B/S 2015年度期末、
P/L 2016年度第1四半期から
- ブラジル日清の新規連結
2015年度第3四半期から
- インドネシア日清の新規連結
2016年度第1四半期から
- インド日清の連結決算期変更
12月決算 ⇒ 3月決算
- 会計方針の変更
国内の減価償却方法(定率法 ⇒ 定額法)
- 退職給付債務計算の割引率変更の影響等

2016年度事業計画 日清食品グループ セグメント別 売上計画

- 国内事業は、167億円の増収、前期比 +4.5%を目指す
- 海外事業は、153億円の増収、前期比 +15.1%を目指す

	2016年度 事業計画	前期 通期実績	対 前期増減額/率	
日清食品	2,283	2,236	+47	+2.1%
明星食品	429	416	+13	+3.1%
即席めん事業計	2,712	2,652	+60	+2.3%
低温事業	605	598	+7	+1.2%
菓子・飲料事業 ^{※1}	490	386	+104	+27.0%
その他	31	35	▲4	▲12.3%
国内計	3,838	3,671	+167	+4.5%
米州地域 ^{※2}	600	483	+117	+24.3%
中国地域	421	409	+12	+3.0%
アジア地域 ^{※3}	89	72	+17	+23.7%
EMEA地域	52	46	+6	+13.5%
海外計	1,162	1,009	+153	+15.1%
合計	5,000	4,681	+319	+6.8%

※1 ぼんち(株)の新規連結
B/S 2015年度期末・
P/L 2016年度第1四半期から

※2 ブラジル日清の新規連結
2015年度第3四半期から

※3 インドネシア日清の新規連結
2016年度第1四半期から

- 国内事業は、70億円の増益、前期比 +25.7%を目指す
- 海外事業は、14億円の増益、前期比 +50.4%を目指す
- グループトータルで、6億円の増益、前期比 +2.3%を目指す。

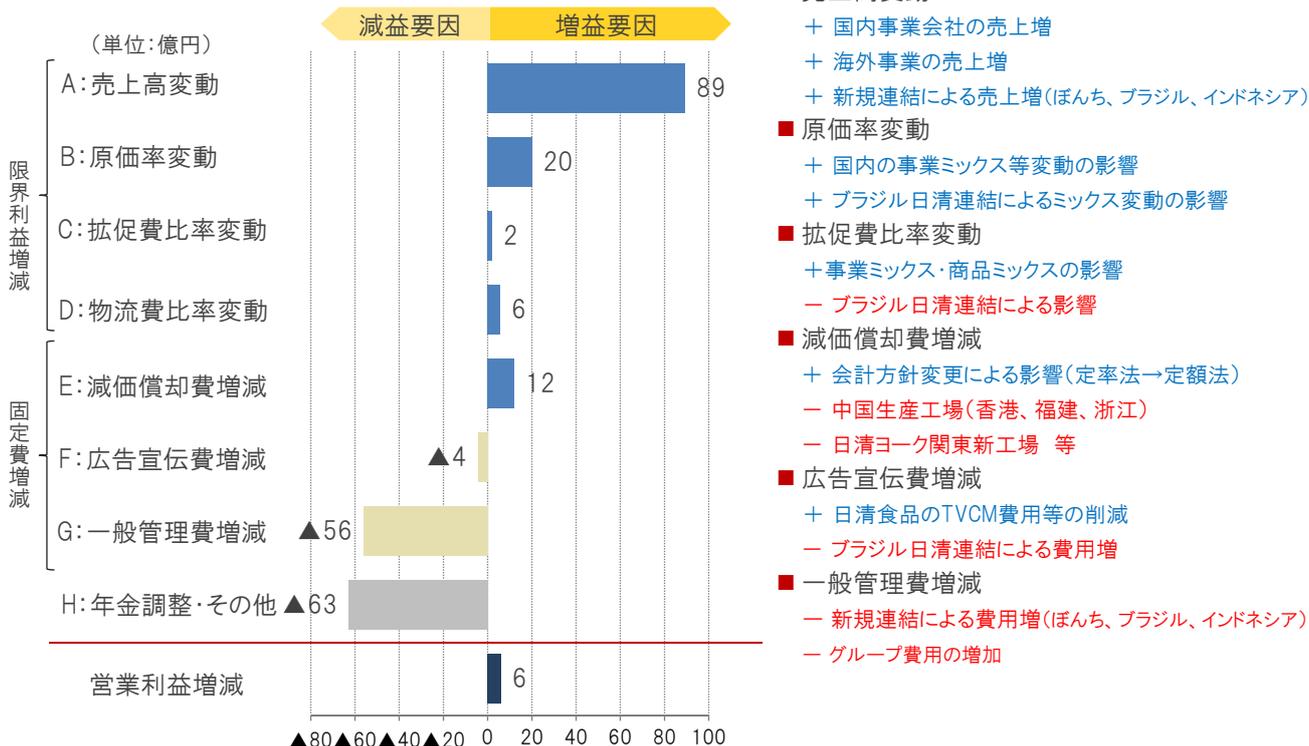
(億円) (参考)

	2016年度 事業計画 (国内:定額)	前期 通期実績 (国内:定率)	対 前期増減額/率		2016年 事業計画 (国内:定率)	対前期 増減額
日清食品	267	240	+27	+11.3%	247	+7
明星食品	21	14	+8	+54.7%	15	+2
即席めん事業計	288	253	+35	+13.6%	262	+8
低温事業	13	7	+6	+78.4%	9	+2
菓子・飲料事業	27	13	+14	+108.2%	22	+9
その他	14	△2	+15	-	9	+11
国内 計	341	272	+70	+25.7%	302	+30
米州地域	23	11	+13	+120.0%	23	+13
中国地域	35	41	▲6	▲15.6%	35	▲6
アジア地域	△16	△20	+4	-	△16	+4
EMEA地域	1	△4	+4	-	1	+4
海外計	43	28	+14	+50.4%	43	+14
調整額 ^{※1}	△114	△36	▲78	-	△114	▲78
営業利益 計	270	264	+6	+2.3%	230	▲34
(退職給付会計の影響を除く)	315	247	69	+27.9%	276	+29

※1 2016年度の調整額には、退職給付会計の影響(△45億)が含まれています。

2016年度事業計画 日清食品グループ 通期営業利益 増減要因分析

営業利益 270億円(前期比+6億円)



- 売上高変動
 - + 国内事業会社の売上増
 - + 海外事業の売上増
 - + 新規連結による売上増(ぼんち、ブラジル、インドネシア)
- 原価率変動
 - + 国内の事業ミックス等変動の影響
 - + ブラジル日清連結によるミックス変動の影響
- 拡促費比率変動
 - + 事業ミックス・商品ミックスの影響
 - ブラジル日清連結による影響
- 減価償却費増減
 - + 会計方針変更による影響(定率法→定額法)
 - 中国生産工場(香港、福建、浙江)
 - 日清ヨーク関東新工場 等
- 広告宣伝費増減
 - + 日清食品のTVCM費用等の削減
 - ブラジル日清連結による費用増
- 一般管理費増減
 - 新規連結による費用増(ぼんち、ブラジル、インドネシア)
 - グループ費用の増加

【増減要因の算出法】 ①変動費(A,B,C,D)=(今期の売上計画× 前期の売上高比率) - 今期費用 ②固定費(E,F,G)=(前期-今期)費用

投資計画

設備投資・事業投資は、中計期間5か年の総額2,500億円の範囲内でコントロールして使用

設備投資

2016年度(計画) 439億円

(方針)

- 成長セグメント・成長エリアでの生産能力拡充
- 生産の効率化、コスト削減のための設備投資
- 安全安心を確立するための設備投資
- グループインフラの強化

(主な設備投資計画)

- 中国事業 新工場(香港、浙江)
- 日清ヨーク 関東新工場
- 国内コージェネ対応 など
- ERP 第2期(チルド・冷凍)

事業投資

(方針)

- グループ成長を加速するM&A案件など、国内・海外の競争力強化のための投資を適宜検討

減価償却費

2016年度(計画) 163億円

(会計方針の変更)

- 国内の減価償却方法を定率法から定額法へ変更

(主な増加要因)

- 日清ヨーク 関東新工場
- 中国事業 新工場(福建工場、香港ライン増設、浙江工場)

減価償却費

(億円)

	2015年度	2016年度(計画)
変更前	175	203
償却方法変更後	—	163

株主還元

2016年度(計画) 年間配当金 80円/1株当たり

(方針)

- 配当性向/‘中期経営計画2020’ 期間平均配当性向40%以上を目標とする
- 自己株式取得/経営環境・事業環境に応じ、機動的に自己株式取得を検討する

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度(計画)
配当性向	43.8%	42.9%	44.7%	32.6%	39.3%
総還元性向	43.8%	42.9%	44.7%	85.2%	—

キャッシュフロー

営業CF
327億円

資金の不足分は、現預金及び投資有価証券の取り崩しや、各種ファイナンスを検討

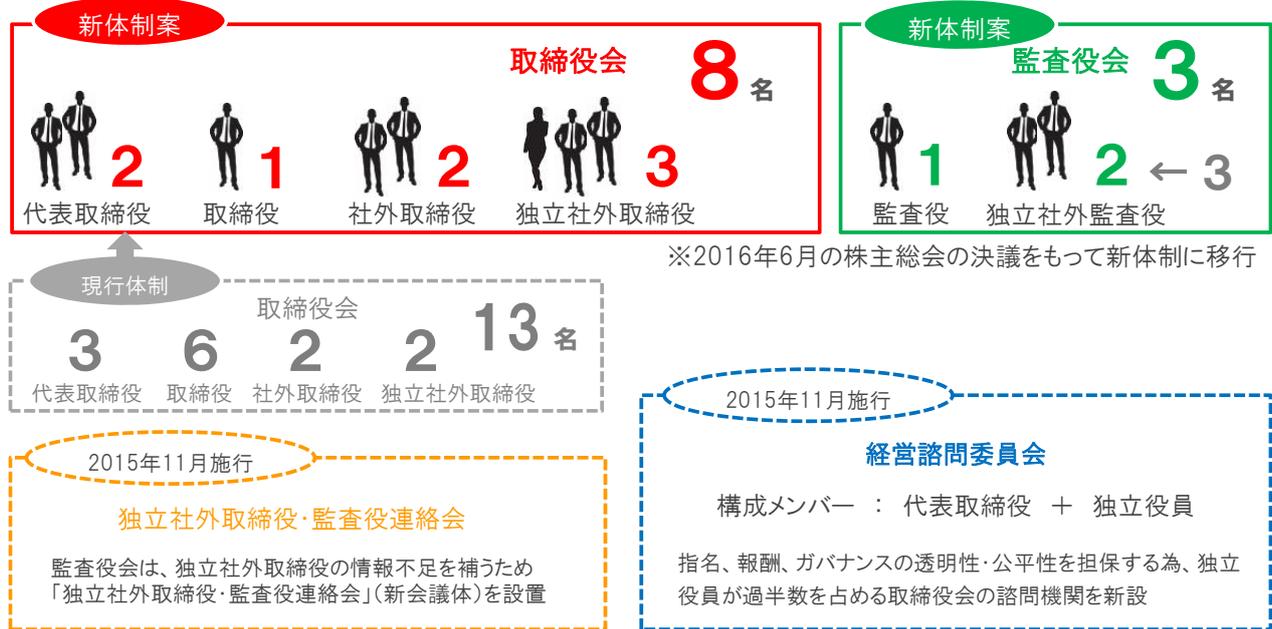


株主還元
見込み配当総額 86 億円 1株当たり配当計画:80円 (上期40円、下期40円)
投資予算
設備投資 439億円 事業投資

設備投資・事業投資は、中計期間5か年の総額2,500億円の範囲内でコントロールして使用

ガバナンス体制の強化

- 経営の執行と監督を明確に分離し、取締役会による監督機能を強化
- 取締役会では社外取締役の意見を大いに取り入れ、ステークホルダーの立場に立って経営戦略の妥当性やそれが適切に執行されているかなどを厳しくチェック



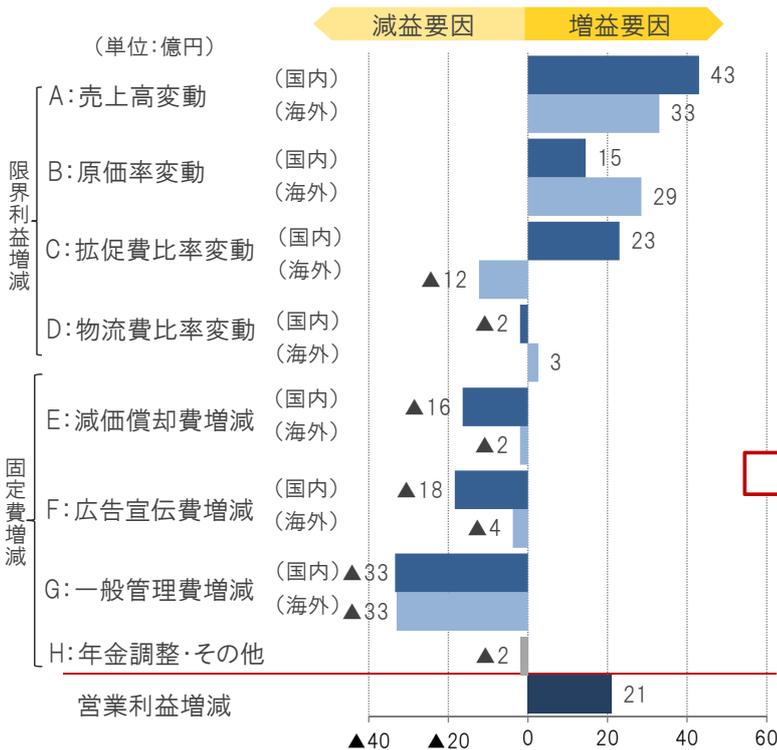
日清食品ホールディングス株式会社



2015年度 日清食品グループ 通期営業利益 増減要因分析 (国内・海外)

営業利益 264億円(前期比+21億円)

国内



- 原価率変動
 - + 即席めん事業の価格改定効果による原価率改善
 - + 明星食品 生産体制効率化による労務費・燃料費減
 - 国内の原材料高騰による影響
 - 日清食品 オープンプライス化による原価率上昇
- 拡促費比率変動
 - + 日清食品 オープンプライス化による拡促費率減少
- 減価償却費変動
 - ERP費用の増加、明星埼玉工場の償却費増
- 広告宣伝費増減
 - 日清食品、明星食品、日清シスコのCM費増加
- 一般管理費増減
 - ホールディングの人的費増、経費の増加

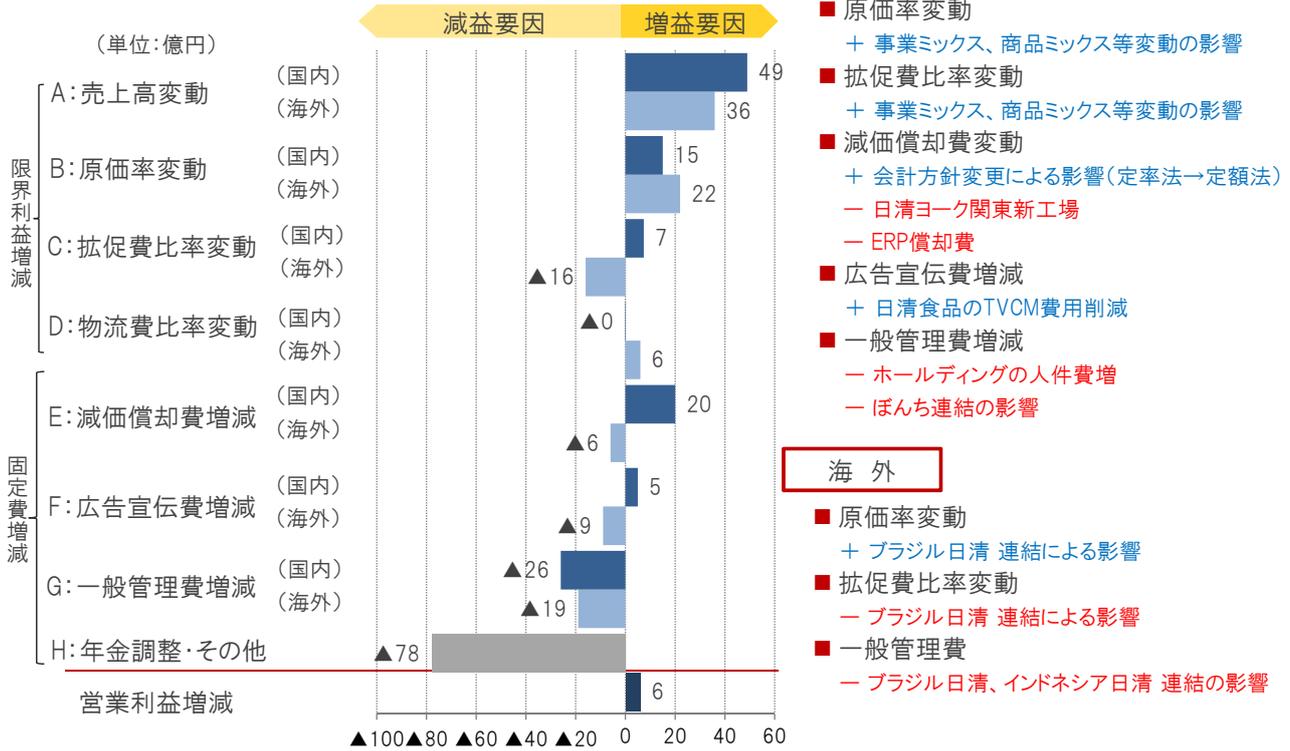
海外

- 原価率変動
 - + 海外の原材料安
- 拡促費比率変動
 - 香港の拡販費増加
- 一般管理費
 - 米州地域(為替、人件費増等、ブラジル新規連結)
 - 中国地域(為替、人件費増等)

【増減要因の算出法】 ①変動費(A,B,C,D)=(今期の売上計画× 前期の売上高比率) - 今期費用 ②固定費(E,F,G)=(前期-今期)費用

営業利益 270億円(前期比+6億円)

国内



- 原価率変動
 - + 事業ミックス、商品ミックス等変動の影響
- 拡促費比率変動
 - + 事業ミックス、商品ミックス等変動の影響
- 減価償却費変動
 - + 会計方針変更による影響(定率法→定額法)
 - 日清ヨーク関東新工場
 - ERP償却費
- 広告宣伝費増減
 - + 日清食品のTVCM費用削減
- 一般管理費増減
 - ホールディングの人件費増
 - ぼんち連結の影響

海外

- 原価率変動
 - + ブラジル日清 連結による影響
- 拡促費比率変動
 - ブラジル日清 連結による影響
- 一般管理費
 - ブラジル日清、インドネシア日清 連結の影響

【増減要因の算出法】 ①変動費(A,B,C,D)=(今期の売上× 前期の売上高比率) - 今期費用 ②固定費(E,F,G)=(前期-今期)費用

EARTH FOOD CREATOR

【注意】 国内・海外の事業ミックス変化による影響、グループ間の調整の影響により、各分析項目の和はp.21資料と差が生じています。



2016年度 フォーカスポイント ～ 国内 ～ コアブランドの強化と収益力の向上

日清食品 Anniversary Year

チキンラーメン
58th

カップヌードル
45th

日清のどん兵衛
40th

日清焼そばU.F.O.
40th

日清シスコ

シスコーン
53rd

ココナッツサブレ
51st

100年ブランドカンパニーに向けた挑戦

主カブランドの強化

ブランド強化×売上拡大×収益力の向上

明星食品 Anniversary Year

チャルメラ
50th

夜店の焼きそば
21st

日清食品チルド Anniversary Year

行列のできる店
20th

太麺焼そば
6th

日清食品冷凍

スパ王
17th

日清具多
14th

日清ヨーク

十勝のむヨーグルト
46th

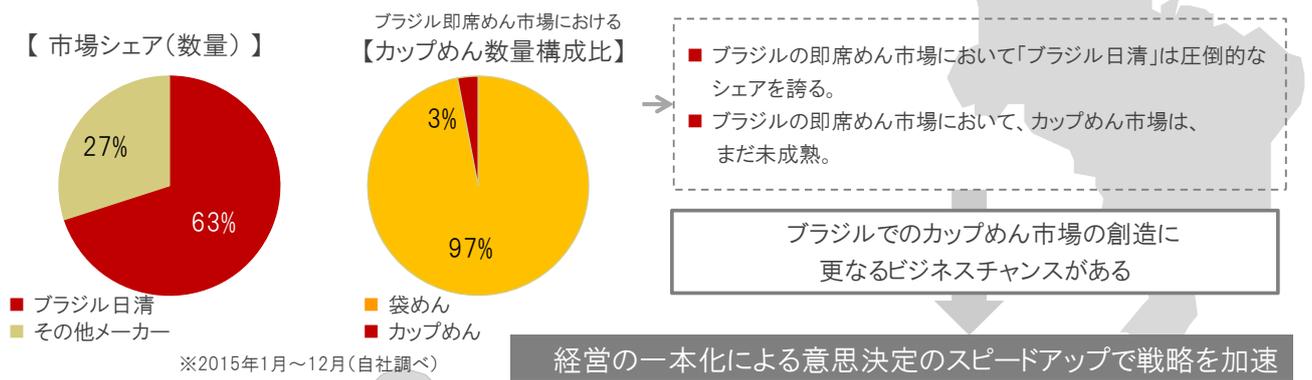
ピルクル
23rd

EARTH FOOD CREATOR

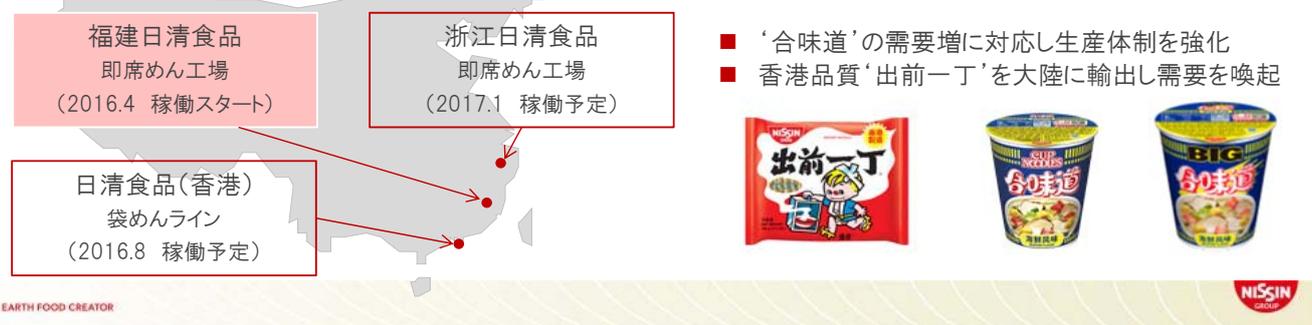




ブラジル日清:ブラジルマーケットにおける‘カップめん市場’の創造



中国地域:‘合味道’ブランドの強化と香港製‘出前一丁’の大陸での販売強化



日清食品 キャッシュの創出と収益力の強化

- 100年ブランドカンパニーに向けた挑戦
～既存のブランド価値の極大化～
- Beyond Instant Foods
～新しい価値と市場の創造～
- 2期連続の売上高、過去最高の更新を目指す



カップヌードル
45th



日清のどん兵衛
40th



日清焼そばU.F.O.
40th

‘Anniversary Year’の活用



カップヌードル
リッチ



カップヌードル
ライトプラス



シニア層と女性層の取り込み



チキンラーメン



日清 ラ王



日清 麺職人

コアブランドの売上拡大

明星食品 主力ブランドの強化と提案型マーケティングの実践

- 主力ブランドの徹底強化
～広告展開によるコミュニケーション強化～
- 新概念商品の育成
～低糖質麺の拡販～
- チャンネル毎の戦略を明確化



一平ちゃん 夜店の焼そば

焼そばジャンルNO.1を目指す



チャルメラ

Anniversary Year



低糖質麺

新概念



日清食品チルド 付加価値ブランドの育成と技術の活用

- 主力ブランドの強化
～伸びる商品への集中、商品の絞り込み～
- 次世代ブランドの育成
～新しい価値の提案と市場ニーズの取り込み～
- オリジナリティのある商品開発



行列のできる店



太麺焼そば



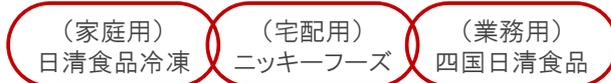
中華風涼麺



ませ麺

日清食品冷凍 成長カテゴリーへの集中、戦略商品強化、新チャネル開拓

- 冷凍食品事業3本柱の強化
～「家庭用」「宅配用」「業務用」3本の柱を育てる
- 単品力の強化
～単品力強化による収益性の改善～
- 販売チャネル別の戦略構築
～成長するCVS冷食への対応～



スパ王プレミアム
トマトクリーム



もちっと生パスタ
ボロネーゼ



日清具多
辣椒担々麺

日清シスコ 成長事業(シリアル)と創業事業(菓子)の両輪による成長

- 「ごろっとグラノーラ」のブランド価値向上
 ~プレミアム化と他社にはない品揃え~
 ~広告宣伝による、更なるブランド認知拡大~
- 「ココナッツサブレ」 100年ブランドを目指す
 ~質と利便性の向上~



日清ヨーク 関東 新工場稼働による生産性の改善・生産能力拡大

- 関東 新工場の稼働による供給量のアップと生産性の改善
 ~11月本格稼働予定~
- 2大ブランド「ピルクル」、「十勝のむヨーグルト」の販売強化
 ~「ピルクル」の機能的価値訴求の強化~
 「ピルクルはトクホ」
 ~「十勝のむヨーグルト」の導入店舗増による売上拡大



ぼんち 2015年度期末からBS連結、2016年4月からPL連結開始

- 2016年度から連結決算に組み入れて売上・営業利益を取り込む
- 日清シスコ、(株)フレンテとのシナジーを模索

米州地域 市場環境の変化への対応とブラジル日清の戦略強化

- アメリカ
 - ✓ 既存ブランドの売上・利益の確保
 - ✓ 消費者意識の変化に対応したマーケティングの実践
- メキシコ
 - ✓ IEPS課税の解除を追い風とした売上の拡大
 - ✓ 価格改定による収益の改善
- ブラジル
 - ✓ 新営業体制による経営の意思決定のスピードアップ(価格戦略、製品戦略)
 - ✓ マーケットリーダーとしてカップめん市場創造の足掛かりをつくる



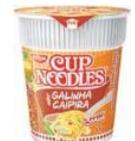
Top Ramen (US)



CUP NOODLES (US)



Nissin Lamens (Brazil)



CUP NOODLES (Brazil)

中国地域 売上拡大に伴う生産体制の強化

- 香港
 - ✓ 既存ブランドの売上・利益の確保
 - ✓ 大陸向け「出前一丁」の生産能力拡充(香港袋めん工場…8月稼働予定)
- 大陸
 - ✓ 営業網の更なる拡充
 - ✓ 「合味道」を中心とした営業力の強化
 - ✓ 香港製「出前一丁」の売上拡大
 - ✓ 生産工場拡充による商品供給力のアップ(福建工場…4月稼働、浙江工場…来年1月稼働予定)
- 他
 - ✓ 菓子ビジネス(日清湖池屋)の拡大



合味道 (香港)



出前一丁 (香港・大陸)



合味道 (大陸)

アジア地域

インド事業の早期回復、成長セグメントへの集中、三菱商事とのアライアンス

- インド
 - ✓ 昨年の自主回収からの早期回復
 - ✓ メトロポリタン(8大都市)を中心とした‘CUP NOODLES’の売上拡大
- タイ
 - ✓ ‘CUP NOODLES’の若者へのアプローチ
 - ✓ 自社営業体制による店舗開拓強化
- シンガポール
 - ✓ 収益基盤の安定
- ベトナム
 - ✓ 新製品に対する感度が高い都市での営業に集中
- インドネシア … 今期から新規連結
 - ✓ 中国に次ぐ即席めん消費国でのチャレンジを開始



EMEA地域

売上拡大に伴う生産体制の強化

- 欧州
 - ✓ 安定した経営基盤の構築
 - ✓ 新規マーケットの拡大
 - ✓ 英国プレミアフーズとの協業の検討
- トルコ
 - ✓ 即席パスタ‘MakarNecks’の配荷の維持と営業体制の見直し



日清食品ホールディングス株式会社

2015年度（2016年3月期）

通期決算
補足資料

ページ

2015年度業績と2016年度計画	
1.2014年度実績と2015年度実績	1
2.2015年度実績と2016年度計画	1
連結損益計算書	
1.連結損益計算書	2
セグメント別業績	
1.セグメント別業績 売上(年度別・四半期別)	3
2.セグメント別業績 営業利益・営業利益率(年度別・四半期別)	4
連結期間等	
1.決算期	5
2.主な新規連結対象会社	5
3.主な出資比率の変更の会社	5
4.持分法適用会社の実績・四半期別	5
営業利益の増減要因	
1.営業利益の増減分析(2015年度)	6
2.営業利益の増減予想(2016年度)	6
為替レート等	
1.各国為替レート(通期)	7
2.為替レート影響を除外した海外事業の2015年実績(通期)	7
(参考)退職給付会計の影響	8
(参考)減価償却方法変更の影響額	8
連結貸借対照表(四半期)	9
連結損益計算書(四半期)	10
連結キャッシュフロー計算書(四半期)	10
主要経営指標(年間)	11
前中期経営計画2015(2013年4月発表)ダイジェスト結果	12
新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト	13
ヒストリカルデータ	
1.営業利益推移・調整後営業利益推移	14
2.親会社株主に帰属する当期純利益・EPS推移	14
3.自己資本と自己資本利益率(ROE)推移	14
4.設備投資・減価償却費	15
5.配当金・配当性向	15
6.期末の時価総額とPER	15
主な日清食品グループ海外進出企業	16
IR関連リリース・トピックス	17
即席めん業界資料	
国内即席めん類の袋めん・カップめん 総生産数量推移	18
主要製品 レギュラー製品量販店平均売価(税込)推移	18
国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移	19
即席めんの世界市場(地域別)	20
国内各事業の市場データ	21

2015年度業績と2016年度計画

1.2014年度実績と2015年度実績

単位:億円

項 目	2014年度実績			2015年度実績			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,020	2,296	4,316	2,179	2,501	4,681	+160	+205	+365	+7.9%	+8.9%	+8.5%
営業利益	94	149	243	124	140	264	+30	▲9	+21	+31.8%	-6.0%	+8.6%
経常利益	132	198	330	161	146	307	+29	▲51	▲22	+21.6%	-25.9%	-6.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	81	104	185	108	161	269	+27	+57	+84	+33.2%	+54.7%	+45.3%

2.2015年度実績と2016年度計画

単位:億円

項 目	2015年度実績			2016年度計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,179	2,501	4,681	2,400	2,600	5,000	+221	+99	+319	+10.1%	+3.9%	+6.8%
営業利益	124	140	264	90	180	270	▲34	+40	+6	-27.4%	+28.6%	+2.3%
調整後営業利益 ^{※1}	115	132	247	113	203	315	▲2	+71	+69	-1.8%	+53.5%	+27.8%
経常利益	161	146	307	115	195	310	▲46	+49	+3	-28.5%	+33.2%	+0.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	108	161	269	105	115	220	▲3	▲46	▲49	-2.9%	-28.4%	-18.2%

※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

連結損益計算書

1. 連結損益計算書

単位: 億円

項 目	2014年度実績		2015年度実績		前年同期比		
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減率	
1 売上高	4,316	100.0%	4,681	100.0%	+365	+8.5%	
2 売上原価	2,434	56.4%	2,611	55.8%	+177	+7.3%	
	退職給付費用影響額(原価分)	△ 5	-0.1%	△ 6	-0.1%	▲ 1	-
売上原価計	2,429	56.3%	2,605	55.7%	+176	+7.2%	
3 売上総利益	1,887	43.7%	2,076	44.3%	+189	+10.0%	
4 売上総利益	拡促費	781	18.1%	821	17.5%	+40	+5.2%
	広告宣伝費	124	2.9%	146	3.1%	+22	+17.8%
	物流費	271	6.3%	294	6.3%	+23	+8.5%
	退職給付費用影響額(販管費)	△ 6	-0.1%	△ 12	-0.2%	▲ 6	-
	一般経費	474	11.0%	562	12.0%	+88	+18.6%
販管費計	1,644	38.1%	1,812	38.7%	+168	+10.2%	
5 営業利益	243	5.6%	264	5.6%	+21	+8.6%	
6 営業利益	受取利息	9	0.2%	9	0.2%	+0	+4.9%
	受取配当金	19	0.4%	14	0.3%	▲ 5	-24.7%
	有価証券売却益	-	-	8	0.2%	+8	-
	持分法投資利益	29	0.7%	28	0.6%	▲ 1	-5.0%
	為替差益	25	0.6%	-	-	▲ 25	-
	その他	10	0.2%	9	0.2%	▲ 1	-13.7%
	営業外収益計	92	2.1%	68	1.5%	▲ 24	-26.0%
	支払利息	2	0.1%	3	0.1%	+1	+38.7%
	為替差損	-	-	14	0.3%	+14	-
	その他	3	0.1%	7	0.2%	+5	+177.4%
営業外費用計	5	0.1%	25	0.5%	+20	+379.4%	
7 経常利益	330	7.6%	307	6.6%	▲ 22	-6.8%	
8 経常利益	固定資産売却益	4	0.1%	2	0.0%	▲ 2	-40.8%
	投資有価証券売却益	25	0.6%	51	1.1%	+26	+104.7%
	段階取得に係る差益	-	-	66	1.4%	+66	-
	その他	2	0.0%	8	0.2%	+6	+306.5%
	特別利益計	31	0.7%	128	2.7%	+97	+314.5%
	固定資産売却損	1	0.0%	0	0.0%	▲ 1	-75.1%
	固定資産廃棄損	4	0.1%	4	0.1%	▲ 1	-16.9%
	減損損失	51	1.2%	11	0.2%	▲ 40	-78.4%
	出資金売却損	-	-	13	0.3%	+13	-
	関係会社出資金評価損	-	-	6	0.1%	+6	-
	貸倒損失	-	-	7	0.2%	+7	-
	関係会社株式評価損	7	0.2%	-	-	▲ 7	-
	製造委託契約解約損	3	0.1%	-	-	▲ 3	-
	退職給付会計に係る原則法変更時差異	-	-	7	0.2%	+7	-
	その他	4	0.1%	17	0.4%	+13	+349.1%
特別損失計	71	1.6%	66	1.4%	▲ 5	-6.9%	
9 税金等調整前当期純利益	290	6.7%	370	7.9%	+80	+27.4%	
10 法人税等	103	2.4%	101	2.2%	▲ 2	-2.0%	
11 当期純利益	187	4.3%	269	5.7%	+82	+43.6%	
12 非支配株主に帰属する当期純利益	2	0.0%	0	0.0%	▲ 2	-99.0%	
13 親会社株主に帰属する当期純利益	185	4.3%	269	5.7%	+84	+45.3%	
14 当期包括利益	380	8.8%	196	4.2%	▲ 183	-48.3%	

注: 記載金額については、千円単位で算出し、億円未満を四捨五入で表示。

セグメント別業績 売上

1. セグメント別・年度別 売上

単位: 億円

	事業概要	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	15実績VS14実績		15期初計画 ^{※6}	15期実績VS15期初計画		16年計画	16年計画VS15実績	
						差異	増減率		差異	増減率		差異	増減率
日清食品	即席種	2,008	2,109	2,158	2,236	+78	+3.6%	2,227	+9	+0.4%	2,283	+47	+2.1%
明星食品	即席種	393	396	392	416	+24	+6.2%	416	+0	+0.0%	429	+13	+3.1%
低温 ^{※1}		526	548	566	598	+32	+5.6%	572	+26	+4.6%	605	+7	+1.2%
菓子・飲料 ^{※2,3,4}		340	361	343	386	+43	+12.5%	387	▲1	-0.3%	490	+104	+27.0%
国内その他 ^{※4,5}		25	26	30	35	+6	+19.7%	31	+4	+14.0%	31	▲4	-12.3%
国内計		3,292	3,439	3,488	3,671	+183	+5.3%	3,633	+38	+1.1%	3,838	+167	+4.5%
米州地域 ^{※7}	即席種	259	322	357	483	+125	+35.1%	413	+70	+16.9%	600	+117	+24.3%
中国地域	即席種	208	299	345	409	+64	+18.5%	469	▲60	-12.8%	421	+12	+3.0%
アジア地域 ^{※4,8}	即席種	40	55	78	72	▲6	-8.0%	106	▲34	-32.1%	89	+17	+23.7%
EMEA地域 ^{※4}	即席種	27	60	47	46	▲1	-2.1%	59	▲13	-22.3%	52	+6	+13.5%
海外計		535	737	828	1,009	+182	+22.0%	1,047	▲38	-3.6%	1,162	+153	+15.1%
グループ計		3,828	4,176	4,316	4,681	+365	+8.5%	4,680	+1	+0.0%	5,000	+319	+6.8%

- ※1: 日清食品チルド、日清食品冷凍
 ※2: 日清シスコ、日清ヨーク、ほんち
 ※3: ほんちは2016年第1四半期より菓子飲料セグメントに含まれます。
 ※4: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
 ※5: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
 ※6: 修正計画に関してセグメント別の内容を公表していませんので、期初計画を表示しています。
 ※7: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含まれています。
 ※8: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含まれます。

2. セグメント別・四半期別 売上

単位: 億円

	事業概要	2014年度				2015年度				2015VS2014(差異・増減率)							
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日清食品	即席種	461	504	664	529	485	532	659	560	+23	+5.0%	+28	+5.6%	▲4	-0.7%	+32	+6.0%
明星食品	即席種	92	89	110	101	99	101	114	102	+6	+6.9%	+12	+13.7%	+5	+4.3%	+1	+0.8%
低温 ^{※1}		136	144	150	137	148	152	151	146	+12	+8.5%	+9	+6.0%	+2	+1.2%	+10	+7.2%
菓子・飲料 ^{※2,3,4}		91	86	82	83	100	98	91	96	+9	+10.1%	+12	+13.6%	+9	+10.9%	+13	+15.6%
国内その他 ^{※4,5}		8	7	9	6	10	9	8	9	+2	+27.4%	+1	+19.7%	▲1	-9.1%	+3	+54.7%
国内計		789	830	1,014	855	842	892	1,024	913	+53	+6.7%	+62	+7.5%	+10	+1.0%	+58	+6.8%
米州地域 ^{※6}	即席種	75	87	97	99	80	100	149	153	+6	+7.6%	+13	+15.3%	+53	+54.4%	+54	+54.3%
中国地域	即席種	88	89	79	89	97	108	97	107	+8	+9.6%	+19	+21.8%	+18	+22.4%	+18	+20.3%
アジア地域 ^{※4,7}	即席種	18	19	20	21	19	18	14	20	+1	+4.5%	▲0	-2.1%	▲6	-28.8%	▲1	-4.6%
EMEA地域 ^{※4}	即席種	14	10	10	12	12	10	11	12	▲2	-15.0%	▲0	-1.5%	+1	+13.4%	▲0	-1.0%
海外計		195	206	206	222	208	238	272	292	+13	+6.6%	+32	+15.7%	+66	+32.1%	+71	+31.9%
グループ計		984	1,036	1,220	1,076	1,049	1,130	1,296	1,205	+65	+6.6%	+94	+9.1%	+76	+6.2%	+129	+12.0%

- ※1: 日清食品チルド、日清食品冷凍
 ※2: 日清シスコ、日清ヨーク、ほんち
 ※3: ほんちは2016年第1四半期より菓子飲料セグメントに含まれます。
 ※4: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
 ※5: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
 ※6: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含まれています。
 ※7: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含まれます。

セグメント別業績 営業利益・営業利益率

1. セグメント別・年度別 営業利益・営業利益率 : 上段: 営業利益、下段: 営業利益率

単位: 億円

事業概要	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	15実績VS14実績		15期初計画 ^{※7}	15期実績VS15期初計画		16年計画	16年計画VS15実績	
					差異	増減率		差異	増減率		差異	増減率
日清食品	238	257	236	240	+3	+1.4%	206	+34	+16.3%	267	+27	+11.3%
	11.9%	12.2%	11.0%	10.7%	-0.2%	-	9.3%	+1.5%	-	11.7%	+1.0%	-
明星食品	17	20	14	14	▲1	-3.6%	8	+6	+71.7%	21	+8	+54.7%
	4.4%	5.0%	3.6%	3.3%	-0.3%	-	1.9%	+1.4%	-	5.0%	+1.7%	-
低温 ^{※1}	8	5	△2	7	+9	-	3	+4	+138.5%	13	+6	+78.4%
	1.6%	0.9%	-0.4%	1.2%	+1.6%	-	0.5%	+0.7%	-	2.1%	+0.9%	-
菓子・飲料 ^{※2,3,4}	6	12	13	13	▲0	-1.3%	17	▲4	-23.7%	27	+14	+108.2%
	1.7%	3.3%	3.8%	3.4%	-0.5%	-	4.4%	-1.0%	-	5.5%	+2.1%	-
国内その他 ^{※4,5}	△2	0	△1	△2	▲1	-	14	▲16	-	14	+15	-
	-8.5%	1.8%	-2.5%	-5.5%	-3.0%	-	45.2%	-50.7%	-	43.7%	+49.2%	-
国内計	267	293	261	272	+11	+4.0%	248	+24	+9.5%	341	+70	+25.7%
	8.1%	8.5%	7.5%	7.4%	-0.1%	-	6.8%	+0.6%	-	8.9%	+1.5%	-
米州地域 ^{※8}	2	5	7	11	+4	+60.1%	5	+6	+112.0%	23	+13	+120.0%
	0.9%	1.7%	1.9%	2.2%	+0.3%	-	1.2%	+1.0%	-	3.9%	+1.7%	-
中国地域	18	28	33	41	+9	+26.4%	41	+0	+1.1%	35	▲6	-15.6%
	8.8%	9.5%	9.5%	10.1%	+0.6%	-	8.7%	+1.4%	-	8.3%	-1.8%	-
アジア地域 ^{※4,9}	△5	△16	△22	△20	+2	-	△18	▲2	-	△16	+4	-
	-11.3%	-28.3%	-28.2%	-27.9%	+0.3%	-	-17.0%	-10.9%	-	-18.4%	+9.5%	-
EMEA地域 ^{※4}	2	△2	△1	△4	▲2	-	△2	▲2	-	1	+4	-
	7.2%	-3.8%	-2.7%	-8.0%	-5.4%	-	-3.4%	-4.6%	-	1.2%	+9.2%	-
海外計	18	16	16	28	+12	+76.0%	26	+2	+8.8%	43	+14	+50.4%
	3.4%	2.2%	1.9%	2.8%	0.9%	-	2.5%	+0.3%	-	3.7%	+0.9%	-
退職給付会計の影響 ^{※6} のれん償却及び セグメント間取引消去等 ^{※6} グループ関連費用 ^{※6}	△5	7	11	17	+6	+58.1%	19	▲2	-8.6%	△45	▲63	-
	△10	△6	△6	△12	▲6	-	△6	▲6	-	△22	▲10	-
	△30	△33	△39	△41	▲2	-	△41	▲0	-	△47	▲6	-
グループ計	240	277	243	264	+21	+8.6%	245	+19	+7.8%	270	+6	+2.3%
	6.3%	6.6%	5.6%	5.6%	+0.0%	-	5.2%	+0.4%	-	5.4%	-0.2%	-

- ※1: 日清食品チルド、日清食品冷凍
- ※2: 日清シスコ、日清ヨーク、ほんち
- ※3: ほんちは2016年第1四半期より菓子飲料セグメントに含まれます。
- ※4: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
- ※5: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
- ※6: 「決算短信」においては「調整額」に含めています。
- ※7: 修正計画に関してセグメント別の内容を公表していませんので、期初計画を表示しています。
- ※8: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。
- ※9: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含まれます。

2. セグメント別・四半期別 営業利益

単位: 億円

事業概要	2014年度				2015年度				2015VS2014(差異・増減率)							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
日清食品	44	44	101	47	46	58	96	40	+1	+3.3%	+13	+30.1%	▲5	-4.5%	▲7	-14.7%
明星食品	2	2	8	1	8	3	5	△2	+6	+241.9%	+1	+60.9%	▲4	-44.5%	▲4	-
低温 ^{※1}	1	△0	1	△3	3	1	3	0	+2	+367.6%	+2	-	+2	+134.5%	+4	-
菓子・飲料 ^{※2,3,4}	5	4	3	2	5	3	3	2	▲0	-6.0%	▲1	-34.0%	+1	+25.1%	+1	48.5%
国内その他 ^{※4,5}	△0	2	△0	△2	△0	1	0	△3	▲0	-	▲1	-53.0%	+1	-	▲1	-
国内計	52	52	113	44	61	66	107	38	+9	+16.8%	+14	+26.8%	▲5	-4.5%	▲7	-15.6%
米州地域 ^{※7}	0	2	2	2	△2	4	0	8	▲2	-	+2	+69.4%	▲2	-84.6%	+6	408.1%
中国地域	11	5	10	7	9	10	8	15	▲3	-22.7%	+5	+89.4%	▲2	-19.6%	+8	123.1%
アジア地域 ^{※4,8}	△4	△6	△6	△6	△4	△5	△6	△5	▲0	-	+1	-	+0	-	+1	-
EMEA地域 ^{※4}	1	△1	△0	△1	△0	△1	△0	△2	▲1	-	+0	-	▲0	-	▲1	-
海外計	8	1	6	1	2	8	2	16	▲6	-77.6%	+8	+953.4%	▲4	-64.6%	+15	1127.0%
退職給付会計の影響 ^{※6} のれん償却及び セグメント間取引消去等 ^{※6} グループ関連費用 ^{※6}	2	2	2	6	5	5	5	3	+3	+163.4%	+3	+157.9%	+3	+151.2%	▲2	-39.5%
	△2	△1	△3	△0	△1	△1	△5	△5	+1	-	+0	-	▲2	-	▲5	-
	△10	△10	△10	△10	△10	△10	△10	△10	▲1	-	▲1	-	▲1	-	▲1	-
グループ計	51	44	108	41	56	68	99	41	+6	+10.9%	+24	+56.1%	▲9	-8.3%	▲0	-0.2%

- ※1: 日清食品チルド、日清食品冷凍
- ※2: 日清シスコ、日清ヨーク、ほんち
- ※3: ほんちは2016年第1四半期より菓子飲料セグメントに含まれます。
- ※4: 「決算短信」のセグメント情報におきましては「その他」に含めています。
- ※5: 日清食品HD、日清食品アセットマネジメント等
- ※6: 「決算短信」においては「調整額」に含めています。
- ※7: ブラジルは2015年第3四半期より米州セグメントに含めています。
- ※8: インドネシアは2016年第1四半期よりアジアセグメントに含まれます。

連結期間等

1. 決算期

3月決算

日清食品 明星食品 日清食品チルド 日清食品冷凍
日清シスコ 日清ヨーク
国内その他(日清食品HD 日清食品アセットマネジメント等)
米国 メキシコ ブラジル
香港 中国大陸(中国地域は2015年度より3月決算に移行) ^{※1}
インド(アジア地域ではインドのみ2016年度より3月決算に移行)

※1: 2014年度の中国地域は12月決算

12月決算

ぼんち
コロンビア シンガポール ベトナム タイ インドネシア
欧州各国(拠点ドイツ) トルコ

3月決算

1Q	2Q	3Q	4Q
4-6月	7-9月	10-12月	1-3月

12月決算

1Q	2Q	3Q	4Q
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月

2. 主な新規連結対象会社(2015年度以降)

2015年度第1四半期より
浙江日清(中国地域)
2015年度第3四半期より
ブラジル
2016年度第1四半期より
ぼんち インドネシア

3. 主な出資比率の変更の会社(2015年度以降)^{※1}

三菱商事との戦略的アライアンス
2015年11月17日に出資比率が100%から66%へ減少
シンガポール
2015年12月3日に出資比率が100%から66%へ減少
タイ
2016年4月1日に出資比率が100%から66%へ減少
インドネシア

※1: 下記4. 持分法適用会社の実績・四半期別の※で記載の会社を除く

4. 持分法適用会社の実績・四半期別

単位: 億円

	拠点国	持分比率	2014年度					2015年度				
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
(株)フレンテ ^{※1}	日本	34.53%	0	0	△0	△2	△2	△0	0	△1	1	1
ぼんち(株) ^{※2}	日本	30.00%	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
BNA ^{※3}	ブラジル	50.00%	2	3	3	5	13	2	2	/	/	4
タイプレゼンツ ^{※4}	タイ	21.13%	2	3	2	3	10	2	3	4	3	13
NURC ^{※5}	フィリピン	49.00%	/	/	/	/	/	1	0	1	1	3
マルベン ^{※6}	ロシア	33.50%	1	2	4	0	7	1	2	4	△1	6
合計			6	7	10	6	29	6	9	7	5	28

※1: 2015年8月25日の追加取得により持分比率は33.41%から34.53%へ増加

※2: 2016年1月29日に追加取得により持分比率は30%から50.1%に増加、2016年第1Qより連結子会社化

※3: 正式名: ニッシン・アジノモト・アリエントス Ltda. (2015年度第3Qよりニッシンフーズブラジル Ltda.として連結子会社化)

※4: 正式名: タイプレゼンツフーズPub. Co., Ltd.

※5: 正式名: ニッシンユニバーサルピナ Corporation (2015年度1Qより持分法適用会社化)

※6: 正式名: マルベンフード・ホールディングス Ltd.

営業利益の増減要因

1. 営業利益の増減分析(四半期)

単位: 億円

1Q(3ヵ月)

国内外	14年度 営業 利益	変動費				固定費				営業 利益 増減計	15年度 営業 利益
		売上高 変動	原価率 変動	拡促費 比率変動	物流費 比率変動	減価 償却費 増減	広告 宣伝費 増減	一般 管理費 増減	退職給付 会計の 影響		
国内 計	52	+13	▲1	+7	▲0	▲1	▲5	▲4	-	+9	61
海外 計	8	+2	+3	▲3	▲0	▲1	▲1	▲6	-	▲6	2
調整額	△ 10	▲0	+0	▲0	+0	-	-	▲0	+3	+3	△ 7
※1 計	51	+15	+2	+4	▲0	▲2	▲6	▲10	+3	+6	56

2Q(3ヵ月)

国内 計	52	+14	+7	+12	▲0	▲4	▲6	▲8	-	+14	66
海外 計	1	+5	+12	▲3	▲1	▲1	+1	▲6	-	+8	8
調整額	△ 9	+1	▲3	+2	▲0	-	-	+0	+3	+3	△ 6
※1 計	44	+20	+16	+11	▲1	▲5	▲6	▲14	+3	+24	68

3Q(3ヵ月)

国内 計	113	+3	+6	+3	▲3	▲5	▲4	▲5	-	▲5	107
海外 計	6	+12	+5	▲4	+2	▲1	▲0	▲17	-	▲4	2
調整額	△ 11	+3	▲8	+7	▲0	-	-	▲4	+3	▲0	△ 11
※1 計	108	+18	+2	+6	▲2	▲6	▲4	▲26	+3	▲9	99

4Q(3ヵ月)

国内 計	44	+13	+4	+1	+2	▲ 7	▲ 4	▲ 16	-	▲ 7	38
海外 計	1	+13	+9	▲ 2	+2	+1	▲ 3	▲ 4	-	+15	16
調整額	△ 4	+2	▲ 9	+6	▲ 0	▲ 2	-	▲ 3	▲ 2	▲ 8	△ 12
※1 計	41	+28	+3	+5	+4	▲ 8	▲ 7	▲ 23	▲ 2	▲ 0	41

年間累計(12ヵ月)

国内 計	261	+43	+15	+23	▲ 2	▲ 16	▲ 18	▲ 33	-	+11	272
海外 計	16	+33	+29	▲ 12	+3	▲ 2	▲ 4	▲ 33	-	+12	28
調整額	△ 34	+6	▲ 19	+14	▲ 1	▲ 2	-	▲ 7	+6	▲ 2	△ 36
※1 計	243	+81	+24	+26	▲ 0	▲ 21	▲ 22	▲ 73	+6	+21	264

2. 営業利益の増減予想(2016年度)

国内外	15年度 営業 利益	変動費				固定費				営業 利益 増減計	16年度 営業 利益 計画
		売上高 変動	原価率 変動	拡促費 比率変動	物流費 比率変動	減価 償却費 増減※2	広告 宣伝費 増減	一般 管理費 増減	退職給付 会計の 影響		
国内 計	272	+49	+15	+7	▲0	+20	+5	▲ 26	-	+70	341
海外 計	28	+36	+22	▲ 16	+6	▲ 6	▲ 9	▲ 19	-	+14	43
調整額	△ 36	+5	▲ 16	+10	▲ 0	▲ 2	-	▲ 11	▲ 63	▲ 78	△ 114
※1 計	264	+89	+20	+2	+6	+12	▲ 4	▲ 56	▲ 63	+6	270

※1: 分析手法が前期との率による比較のため、各セグメントの利益の増減要因の変動費と小計(国内・海外)・総計は一致しないので「調整額」を使用しています。

※2: P8「減価償却方法変更の影響額」参照

各国為替レート等

1. 各国為替レート(通期)

単位:円

実績は期中平均(対象期間日割りレートの平均値)

使用通貨国	単位	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 想定	
連結子会社							
米州	米国	USD	79.82	97.65	109.93	120.14	112.7
	メキシコ	MXN	6.08	7.66	8.01	7.26	6.5
	コロンビア	COP			0.05	0.04	0.04
	ブラジル	BRL	41.00	45.38	44.57	30.60	28.0
中国	香港	HKD	10.29	12.59	13.65	15.49	14.5
	中国	CNY	12.65	15.79	17.19	18.85	17.4
アジア	シンガポール	SGD	63.91	78.03	83.51	88.10	85.4
	インド	INR	1.51	1.69	1.75	1.90	1.8
	タイ	THB	2.57	3.18	3.26	3.54	3.3
	ベトナム	VND		0.00464	0.00499	0.00553	0.0053
	インドネシア ^{※1}	IDR					0.0088
EMEA	欧州	EUR	102.63	129.68	140.42	134.31	131.8
	トルコ	TRY		51.38	48.43	44.71	41.5
持分法適用会社							
アジア	フィリピン	PHP				2.68	2.6
EMEA	ロシア	RUB	2.58	3.07	2.79	2.00	1.7

※1:2016年度第1四半期より連結子会社化

2. 為替レート影響を除外した海外事業の実績(通期)

単位:億円

	14年度 実績	15年度 実績①	2014年度比		為替 影響額	15年度 実績②	2014年度比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
米州地域	357	459	+101	+28.3%	24	483	+125	+35.1%
中国地域 ^{※1}	345	367	+22	+6.4%	42	409	+64	+18.5%
アジア地域	78	67	▲11	-14.4%	5	72	▲6	-8.0%
EMEA地域	47	48	+1	+2.6%	▲2	46	▲1	-2.1%
売上高 計	828	941	+113	+13.7%	69	1,009	+182	+22.0%
米州地域	7	10	+4	+54.4%	0	11	+4	+60.1%
中国地域 ^{※1}	33	37	+5	+13.9%	4	41	+9	+26.4%
アジア地域	△22	△18	+4	-	▲2	△20	+2	-
EMEA地域	△1	△4	▲3	-	0	△4	▲2	-
営業利益 計	16	25	+9	56.5%	3	28	+12	76.0%

15年度実績①=15年度現地通貨実績×14年度実績レート

但し、新規連結会社においては前年実績がないため今期レートを使用

15年度実績②(公表値)=15年度現地通貨実績×15年度実績レート

※1 中国地域は決算期の変更により、14年度1-12月と15年度4-3月を比較しています。

(参考)退職給付会計の影響

単位:億円

	営業利益	退職給付会計の影響	調整後営業利益※1
2000年度	273	△ 5	278
2001年度	248	△ 25	273
2002年度	264	△ 14	278
2003年度	232	△ 55	287
2004年度	290	△ 15	305
2005年度	320	3	317
2006年度	337	40	297
2007年度	277	△ 1	278
2008年度	236	△ 67	303
2009年度	273	△ 72	346
2010年度	345	40	305
2011年度	262	△ 6	268
2012年度	240	△ 5	245
2013年度	277	7	270
2014年度	243	11	232
2015年度	264	17	247
2016年度	270	△ 45	315

←厚生年金基金の代行部分を返上を実施

※2016年度は予測値

※1:調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

退職給付会計の影響とは

当社及び国内子会社は確定給付型年金制度及び退職一時金制度を採用しています。期初に想定していた運用による収益に対して、実績との乖離が発生した場合や退職給付債務の見積もりに用いる割引率等の見直しが生じた場合に、数理計算上の差異が発生します。当社はこれらの差異について翌年度に一括して費用処理しています。従いまして、その運用状況次第では損益に影響が出る可能性があります。上記の「調整後営業利益」というのは、退職給付引当繰入額とそれらの影響を除いたベースの営業利益です。

(参考)減価償却方法変更の影響額

2016年度より国内の減価償却の計算方法を「定額法」に統一

単位:億円

2016年度	営業利益への影響額
日清食品	+21
明星食品	+7
低温	+3
菓子・飲料	+5
その他	+4
国内計	+40
海外計※1	-
合計	+40

※1海外は従来より定額法を採用

連結貸借対照表(四半期)

単位:億円

連結貸借対照表	14/3期	15/3期				16/3期				対前期末 比増減	対前期末比の主な増減要因
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
資産の部											
現金及び預金	799	883	920	1,011	944	1,102	876	891	871	▲73	
受取手形及び売掛金	311	436	489	645	545	498	557	684	614	+69	
有価証券	117	127	73	46	192	39	184	35	38	▲153	運用資産(CP等)の償還等
商品及び製品	100	135	124	113	120	137	127	132	124	+4	
その他	420	228	219	221	215	240	236	346	262	+47	
流動資産合計	1,748	1,809	1,826	2,035	2,015	2,016	1,979	2,089	1,909	▲106	
有形固定資産	1,476	1,462	1,451	1,469	1,472	1,501	1,555	1,626	1,689	+216	新工場等への設備投資
無形固定資産	63	66	76	76	82	83	79	419	423	+341	ブラジル日清取得に伴うのれん等
投資有価証券	1,318	1,189	1,211	1,299	1,354	1,372	1,363	1,556	1,452	+98	
その他の資産	189	192	192	204	203	205	190	63	57	▲146	今麦郎の出資金売却等
固定資産合計	3,047	2,908	2,929	3,048	3,112	3,161	3,187	3,664	3,621	+509	
資産合計	4,795	4,717	4,755	5,083	5,127	5,177	5,166	5,753	5,531	+403	
負債の部											
支払手形及び買掛金	435	440	422	531	449	457	461	572	513	+64	
未払法人税等	73	31	50	51	52	39	62	74	73	+21	
その他	494	457	426	496	530	477	489	866	723	+193	ブラジル日清株式取得に伴う短期借入金の増加
流動負債合計	1,002	928	898	1,078	1,030	973	1,012	1,511	1,309	+279	
長期借入金	94	94	90	88	95	128	122	129	130	+36	
退職給付に係る負債	63	59	57	55	34	31	30	28	80	+46	
その他	213	223	234	246	270	278	258	323	295	+25	
固定負債合計	370	376	380	389	399	437	410	479	505	+106	
負債合計	1,372	1,304	1,278	1,467	1,429	1,410	1,422	1,990	1,814	+385	
資本の部											
資本金	251	251	251	251	251	251	251	251	251	-	
資本剰余金	484	484	484	484	484	484	484	484	482	▲2	
利益剰余金	2,636	2,639	2,680	2,754	2,733	2,761	2,814	2,899	2,938	+205	当期利益による増加
自己株式	△ 217	△ 217	△ 217	△ 217	△ 217	△ 217	△ 217	△ 358	△ 358	▲142	自己株式立会外買付取引による取得
株主資本合計	3,154	3,158	3,199	3,264	3,252	3,279	3,333	3,276	3,313	+61	
その他有価証券評価差額金	176	199	221	248	351	375	334	471	432	+81	
為替換算調整勘定	52	13	16	59	60	73	43	△ 8	△ 46	▲106	為替変動による
その他	△ 55	△ 56	△ 57	△ 58	△ 45	△ 48	△ 52	△ 62	△ 98	▲53	
その他の包括利益累計額合計	173	156	180	250	366	401	325	402	288	▲78	
新株予約権	12	15	15	15	15	19	19	19	19	+3	
非支配株主持分	84	83	83	88	66	68	68	65	98	+32	
純資産合計	3,423	3,412	3,477	3,616	3,699	3,767	3,744	3,763	3,717	+18	
負債純資産合計	4,795	4,717	4,755	5,083	5,127	5,177	5,166	5,753	5,531	+403	

連結損益計算書及び連結キャッシュフロー計算書(四半期)

1. 連結損益計算書(四半期)

単位: 億円

連結損益計算書	14/3期	15/3期					16/3期				
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	4,176	984	1,036	1,220	1,076	4,316	1,049	1,130	1,296	1,205	4,681
売上総利益	1,863	430	440	552	465	1,887	465	499	590	523	2,076
営業利益	277	51	44	108	41	243	56	68	99	41	264
経常利益	348	67	66	143	54	330	83	77	115	31	307
税金等調整前四半期純利益	317	73	59	150	8	290	86	78	159	46	370
四半期純利益	193	41	41	110	△ 5	187	54	54	123	38	269
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	40	41	109	△ 5	185	54	54	122	39	269

2. 連結キャッシュフロー計算書(四半期)

単位: 億円

連結キャッシュ・フロー計算書	14/3期	15/3期					16/3期				
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	302	51	34	145	74	304	54	86	143	78	362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	92	△ 38	△ 73	△ 30	△ 48	△ 27	△ 114	△ 396	80	△ 458
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 85	△ 42	△ 3	△ 45	10	△ 80	△ 12	△ 5	123	△ 137	△ 30
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△ 6	8	31	18	51	6	△ 17	△ 7	△ 30	△ 49
現金及び現金同等物の増減額	150	95	1	57	72	226	20	△ 49	△ 137	△ 8	△ 175
現金及び現金同等物の四半期首残高	640	802	927	928	985	802	1,059	1,081	1,031	895	1,059
新規連結子会社による現金同等物増減額	12	24	-	-	2	26	-	-	1	-	1
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	-	6	-	-	-	6	1	-	-	-	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	802	927	928	985	1,059	1,059	1,081	1,031	895	887	887

主要経営指標

指標	年度 3月期 単位	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
		2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (計画)
国内売上	百万円	322,349	329,676	329,248	343,931	348,821	367,142	383,800
海外売上	"	52,582	50,998	53,544	73,689	82,755	100,941	116,200
売上高	百万円	374,932	380,674	382,793	417,620	431,575	468,084	500,000
(伸率)	%	1.0	1.5	0.6	9.1	3.3	8.5	6.8
(海外売上比率)	"	14.0	13.4	14.0	17.6	19.2	21.6	23.2
(海外営業利益比率)	"	8.3	2.7	6.4	5.2	5.8	9.4	11.2
売上原価	百万円	203,202	213,707	211,346	231,309	242,915	260,496	-
売上原価率	%	54.2	56.1	55.2	55.4	56.3	55.7	-
広告宣伝費比率	"	3.5	2.9	2.9	2.8	2.9	3.1	-
物流費比率	"	5.8	6.0	5.8	5.8	6.3	6.3	-
拡促費比率	"	17.1	17.3	18.4	18.2	18.1	17.5	-
営業利益	百万円	34,537	26,211	23,954	27,705	24,300	26,399	27,000
調整後営業利益 ^{※1}	"	30,494	26,789	24,461	27,028	23,203	24,662	31,520
営業利益率	%	9.2	6.9	6.3	6.6	5.6	5.6	5.4
調整後営業利益率	%	8.1	7.0	6.4	6.5	5.4	5.3	6.3
経常利益	百万円	36,418	28,099	30,964	34,840	32,980	30,733	31,000
親会社株主に帰属する当期純利益	"	20,756	18,538	18,855	19,268	18,505	26,884	22,000
包括利益	"	13,238	18,540	34,883	37,410	37,955	19,606	-
純資産額	百万円	277,595	286,657	315,026	342,300	369,852	371,688	-
総資産額	"	409,748	414,717	446,132	479,469	512,743	553,068	-
自己資本比率	%	66.3	67.6	68.7	69.4	70.6	65.1	-
自己資本利益率(ROE)	"	7.7	6.7	6.4	6.0	5.3	7.4	-
総資産利益率(ROA)	"	5.1	4.5	4.4	4.2	3.7	5.0	-
EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費)	百万円	48,115	41,917	39,342	43,026	40,407	45,043	45,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	"	29,258	32,604	32,045	30,213	30,353	36,183	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	"	△ 33,440	△ 12,831	△ 31,251	△ 9,507	△ 4,840	△ 45,759	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	"	△ 4,710	△ 9,442	△ 10,070	△ 8,525	△ 8,022	△ 3,010	-
期末発行済株式数	千株	110,668	110,172	110,191	110,221	110,231	108,025	-
期中平均発行済株式数	千株	110,665	110,367	110,189	110,216	110,229	109,500	-
1株当たり純資産(BPS)	円	2,454.67	2,545.31	2,782.25	3,018.82	3,282.02	3,332.94	-
1株当たり当期純利益(EPS)	"	187.56	167.97	171.12	174.83	167.88	245.52	203.66
期末(3月末)株価	円	2,932	3,095	4,385	4,655	5,910	5,290	-
時価総額	百万円	324,478	340,983	483,190	513,081	651,470	571,455	-
株価収益率(PER)	倍	15.6	18.4	25.6	26.6	35.2	21.5	-
年間配当金	円	70	75	75	75	75	80	80
配当性向	%	37.3	44.7	43.8	42.9	44.7	32.6	39.3
設備投資	百万円	30,810	18,936	21,582	27,527	22,959	32,785	43,900
減価償却費	"	12,827	14,955	14,344	14,516	15,440	17,499	16,300
試験研究費(旧研究開発費)	"	4,081	4,384	4,320	5,313	6,431	7,183	-

※1: 調整後営業利益＝営業利益-退職給付会計の影響

※ 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

期末発行済株式数は自己株式数を除いております。

「国内売上」と「海外売上」は決算短信や有価証券報告書上の販売先の地域に基づき区分しており、

「セグメント別業績」とは基準が異なります。

下記の当社HPサイトにおきまして、2015年3月期までの10年分の貸借対照表・損益計算書(通期)をExcel形式でダウンロードいただけますので、どうぞご利用下さい。

<http://www.nissin.com/jp/ir/library/download/>

前中期経営計画2015(2013年4月発表)ダイジェスト結果

1. 日清食品グループ理念 「EARTH FOOD CREATOR」 グローバルに「食」の楽しみや喜びを提供することで、社会や地球に貢献する。

2. 「EARTH FOOD CREATOR」の体現

2015年度(2016/3)	2020年度(2021/3)	長期ビジョン
グローバルカンパニー推進	グローバルカンパニー評価獲得	EARTH FOOD CREATOR 体現
海外売上比率:20%超	海外売上比率:30%超	海外売上比率:50%超
ROE:7%超	ROE:8%超	ROE:10%超

3. グローバルカンパニー推進に向けた全体戦略

- ▶ 国内事業の収益力強化 : 新収益モデル確立「ハイスピードブランディングシステム」の導入、共同購入・物流によるコスト削減
- ▶ 海外事業での成長加速 : 市場にあった事業モデル確立「成熟市場・成長市場・新規市場の各事業モデル」
- ▶ 全社共通の戦略的取り組み : プラットフォーム機能の強化「M&A、ROE重視経営、グローバル人材制度の確立」

4-1. 本中期経営計画の達成目標

項目	中期計画 対象期間(3年間)				中期計画 (2016年3月期)	2015実績 vs中計
	2012年度実績 (2013年3月期)	2013年度実績 (2014年3月期)	2014年度実績 (2015年3月期)	2015年度実績 (2016年3月期)		
売上高	3,828 億円	4,176 億円	4,316 億円	4,681 億円	4,500 億円	+4.0%
うち海外売上高	535 億円	737 億円	828 億円	1,009 億円	985 億円	+2.4%
営業利益	240 億円	277 億円	243 億円	264 億円	310 億円	-14.8%
経常利益	310 億円	348 億円	330 億円	307 億円	360 億円	-14.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	189 億円	193 億円	185 億円	269 億円	230 億円	+17.0%
営業利益率	6.3 %	6.6 %	5.6 %	5.6 %	6.9 %	-
経常利益率	8.1 %	8.3 %	7.6 %	6.6 %	8.0 %	-
ROE	6.4 %	6.0 %	5.3 %	7.4 %	7.2 %	-

4-2. 本中期経営計画の達成目標【国内エリア】

即席めん事業/売上	2,402 億円	2,505 億円	2,550 億円	2,652 億円	2,520 億円	+5.2%
営業利益	255 億円	277 億円	251 億円	253 億円	272 億円	-6.8%
チルド・冷凍事業売上	526 億円	548 億円	566 億円	598 億円	580 億円	+3.1%
営業利益	8 億円	5 億円	△ 2 億円	7 億円	14 億円	-48.9%
菓子・飲料事業売上※1	340 億円	361 億円	343 億円	386 億円	400 億円	-3.6%
営業利益	6 億円	12 億円	13 億円	13 億円	19 億円	-31.7%

※1: 2013年実績時までは、「外食」含む

4-3. 本中期経営計画の達成目標【海外エリア】

米州売上	259 億円	322 億円	357 億円	483 億円	378 億円	+27.6%
営業利益	2 億円	5 億円	7 億円	11 億円	8 億円	+32.5%
中国地域売上	208 億円	299 億円	345 億円	409 億円	322 億円	+27.1%
営業利益	18 億円	28 億円	33 億円	41 億円	27 億円	+51.4%
アジア売上	40 億円	55 億円	78 億円	72 億円	180 億円	-59.9%
営業利益	△ 5 億円	△ 16 億円	△ 22 億円	△ 20 億円	1 億円	-
EMEA売上	27 億円	60 億円	47 億円	46 億円	105 億円	-56.3%
営業利益	2 億円	△ 2 億円	△ 1 億円	△ 4 億円	10 億円	-
海外事業売上合計	535 億円	737 億円	828 億円	1,009 億円	985 億円	+2.5%
営業利益合計	18 億円	16 億円	16 億円	28 億円	46 億円	-39.0%

4-4. 設備投資額

	3年間合計(13年度-15年度実績)				3年間合計(中期計画)	
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	500 億円	+66.5%
設備投資額	216 億円	275 億円	230 億円	328 億円		

5. 財務政策

3年間の投資予算	設備投資額:~500億円/事業投資枠:~650億円 ⇒ 変更:合計総額1,150億円の枠とする。
株主還元方針	配当性向:40%以上を目指す/自社株式取得:市場環境・自社環境を勘案して検討
効率性指標	ROE重視の経営

新中期経営計画2020(2016年5月発表)ダイジェスト

1. 日清食品グループ理念 「EARTH FOOD CREATOR」

グローバルに「食」の楽しみや喜びを提供することで、社会や地球に貢献する。

2. 「EARTH FOOD CREATOR」の体現

2015年度(2016/3)	2020年度(2021/3)	長期ビジョン
グローバルカンパニー推進	グローバルカンパニー評価獲得	EARTH FOOD CREATOR 体現
海外売上比率:22%(実績) 海外営利比率:11%(実績)	海外営利比率:30%以上	海外営利比率:50%以上
ROE:7.4%(実績)	ROE:8%以上	ROE:10%以上
時価総額5,700億円(実績)	時価総額1兆円	

3. グローバルカンパニー評価獲得に向けた戦略

- ▶ グローバルブランディングの促進:海外の収益性向上のため、高付加価値のカップヌードルで海外展開加速
- ▶ 重点地域への集中:BRICs(中国・インド・ブラジル・ロシア)を重点地域とし、経営資源を集中投下し、利益成長を実現
- ▶ 国内収益基盤の盤石化:「国内即席めん市場の深耕」と食の安全性・省人化のための「工場高度化投資」で長期的な安定収益を実現
- ▶ 第2の収益の柱の構築:菓子・シリアル事業で売上高1,000億円規模を目指す/低温・飲料事業で国内での更なる利益成長
- ▶ グローバル経営人材の育成・強化:人材育成と外部からの人材雇用の両輪で、経営人材を増やし、グローバル経営を加速

4-1. 2020年度数値目標(KPI)

		2015年度 実績値 日本会計基準	2020年度 (参考値) 目標値 (日本会計基準) IFRS基準	
本業で稼ぐ力	売上高	4,681 億円	6,000 億円	5,500 億円
	調整後営業利益 ^{※1}	247 億円	400 億円	475 億円
資本市場価値	時価総額 ^{※2}	5,700 億円		1 兆円
	純利益 ^{※3}	269 億円		330 億円
	ROE	7.4 %		8 %以上
	調整後EPS ^{※4}	196 円		330 円
			年平均成長率10%以上	

※1:調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

※2:時価総額=株価×期末発行済株式数(自社株控除後)

※3:日本会計基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」、IFRS基準における「親会社の所有者に帰属する純利益」

※4:調整後EPS=調整後NOPAT^{※5}÷期中平均発行済株式数(自社株式控除後)

※5:調整後NOPAT=税引後調整後営業利益+持分法損益+のれん償却額(持分法に含まれているもの含む)-非支配株主に帰属する当期純利益

4-2. 2020年度数値目標【国内の事業】

		2015年度	2020年度 ^{※1 2}	
			計画	差異
即席めん	売上	2,652 億円	2,976 億円	+324 億円
	営業利益	253 億円	295 億円	+42 億円
	営業利益率	9.6 %	9.9 %	+0.3 %
低温菓子飲料	売上	984 億円	1,323 億円	+339 億円
	営業利益	20 億円	52 億円	+32 億円
	営業利益率	2.0 %	3.9 %	+1.9 %

※1:2020年度の数値目標は日本会計基準で計算されています。

※2:2020年日本会計基準の売上高6,000億・調整後営業利益400億と国内外の事業別合計の差額はHDとその他子会社などです。

4-3. 2020年度数値目標【海外の事業】

		2015年度	2020年度 ^{※1 2}	
			計画	差異
米州	売上	483 億円	808 億円	+325 億円
	営業利益	11 億円	64 億円	+53 億円
	営業利益率	2.2 %	7.9 %	+5.7 %
中国・香港	売上	409 億円	537 億円	+128 億円
	営業利益	41 億円	51 億円	+10 億円
	営業利益率	10.1 %	9.5 %	-0.6 %
アジア	売上	72 億円	241 億円	+169 億円
	営業利益	△ 20 億円	5 億円	+25 億円
	営業利益率	- %	2.2 %	- %
EMEA	売上	46 億円	83 億円	+37 億円
	営業利益	△ 4 億円	8 億円	+12 億円
	営業利益率	- %	9.4 %	- %

※1:2020年度の数値目標は日本会計基準で計算されています。

※2:2020年日本会計基準の売上高6,000億・調整後営業利益400億と国内外の事業別合計の差額はHDとその他子会社などです。

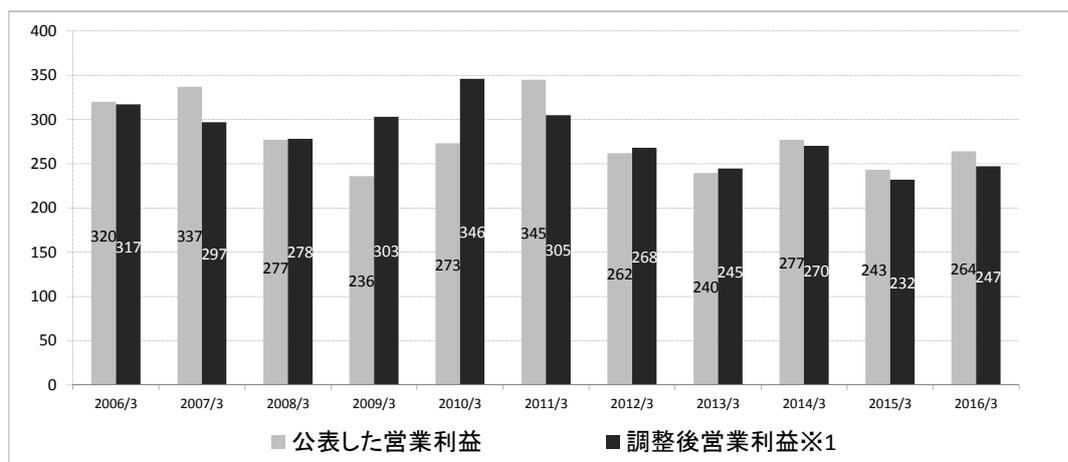
5. 財務政策

5年間の投資予算	設備投資額:1,500億円規模/事業投資額:1,000億円規模
株主還元方針	配当性向:期間平均40%以上

ヒストリカルデータ

1. 営業利益・調整後営業利益推移

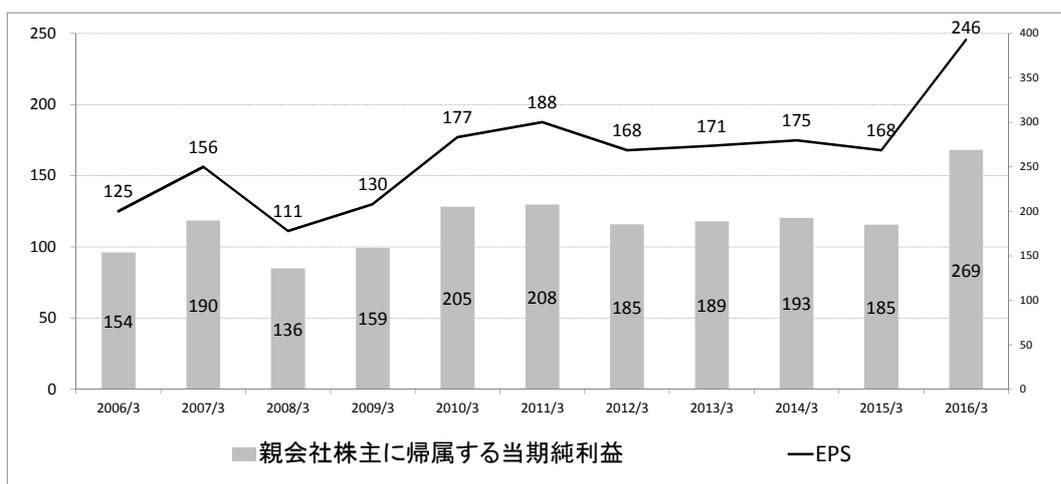
単位: 億円



※1: 調整後営業利益=営業利益-退職給付会計の影響

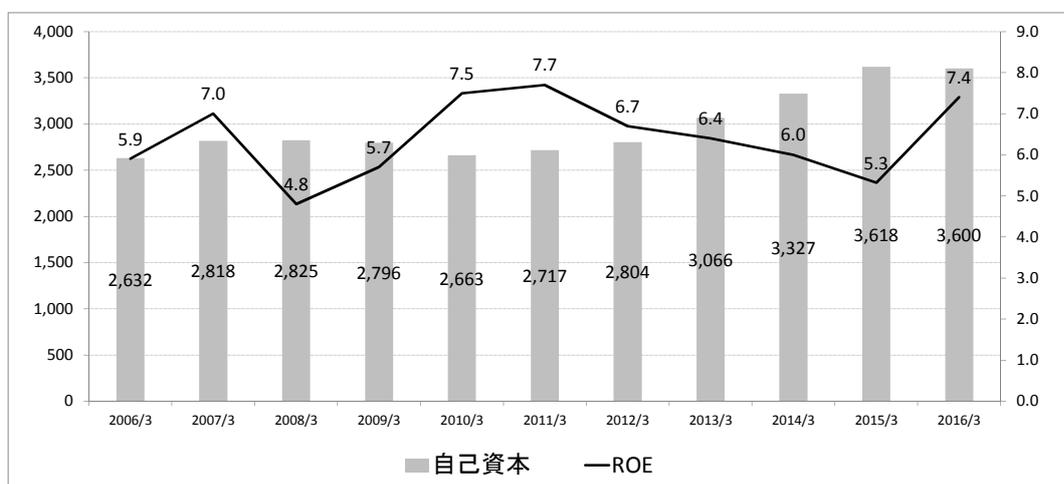
2. 親会社株主に帰属する当期純利益・EPS(=Earnings Per Share/一株当たり当期純利益)推移

単位: 億円/円(右目盛/折れ線グラフ)



3. 自己資本と自己資本当期純利益率(ROE)推移

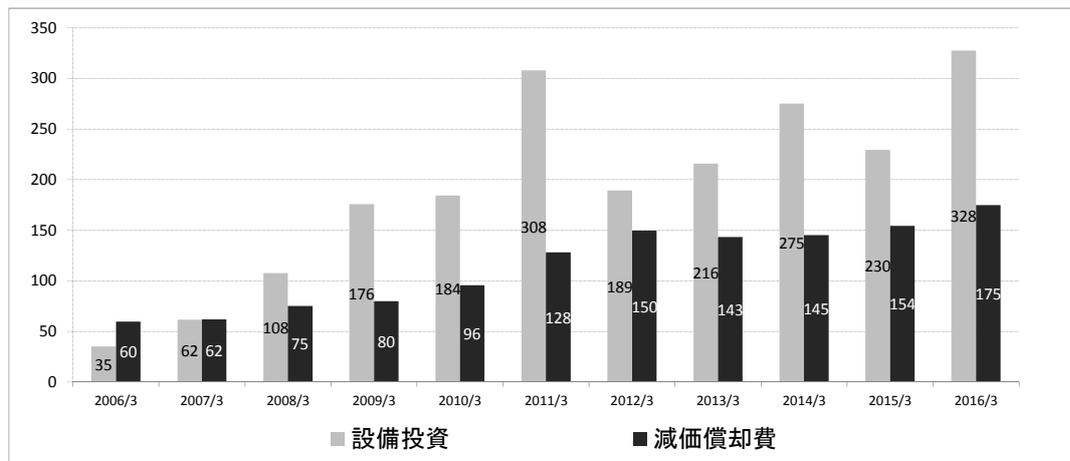
単位: 億円/%(右目盛/折れ線グラフ)



ヒストリカルデータ

4. 設備投資と減価償却費

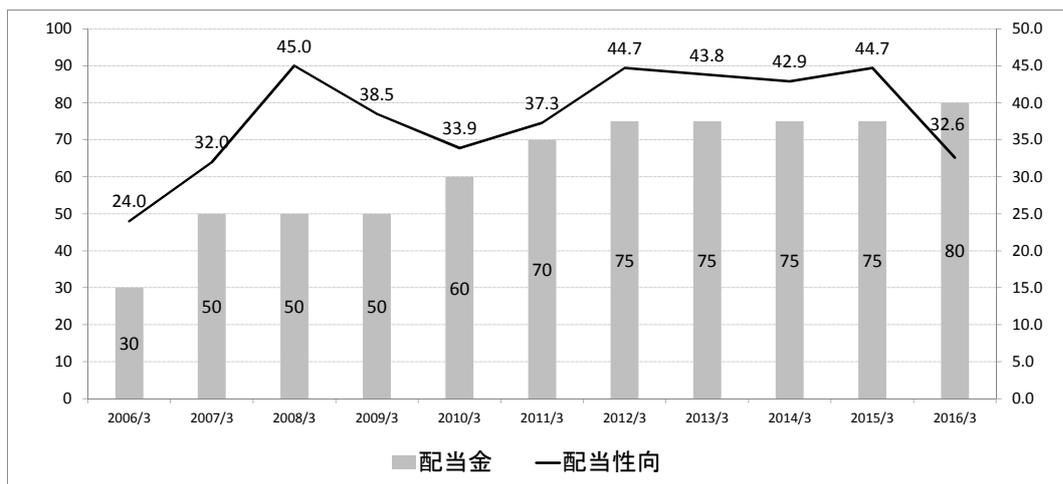
単位: 億円



※1: 調整後営業利益=営業利益±退職給付会計の影響

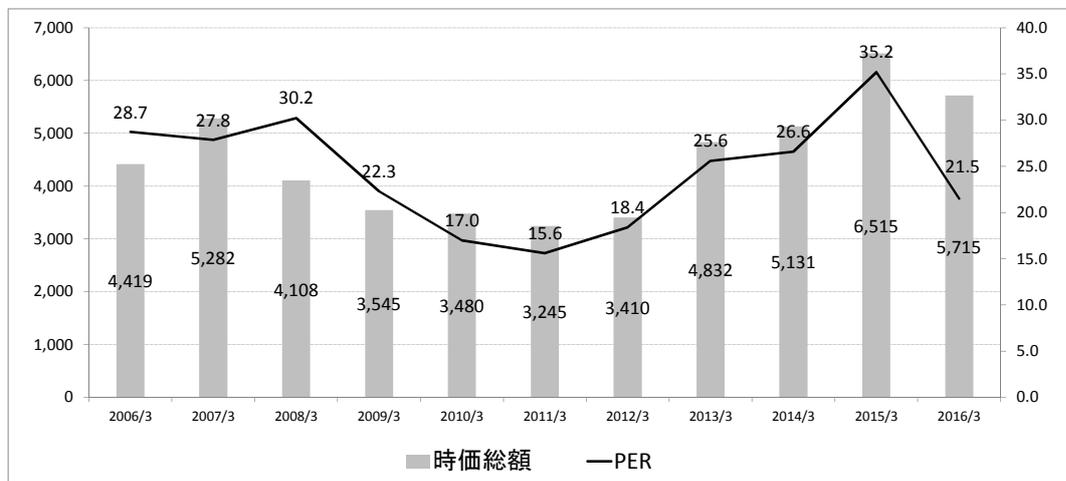
5. 配当金と配当性向

単位: 円/%(右目盛/折れ線グラフ)



6. 期末の時価総額とPER

単位: 億円/%(右目盛/折れ線グラフ)



主な日清食品グループ海外進出企業(2016年3月末現在)

【連結子会社】

地域	名称	設立	住所	主要な事業の内容
中国	日清食品有限公司	1984/10	中国・香港 タイポー地区	中国地域における統括会社及び即席めんの製造販売
	日清食品(香港)有限公司	2015/8	中国・香港 タイポー地区	即席めんの販売
	永南食品有限公司	1989/3	中国・香港 タイポー地区	即席めん・冷凍食品の製造販売
	日清食品(中国)投資有限公司	2001/10	中国上海市	中国事業に対する投資会社
	上海日清食品有限公司	1995/2	中国上海市	即席めんの製造販売
	廣東順徳日清食品有限公司	1994/11	中国広東省佛山市	即席めんの製造販売
	珠海市金海岸永南食品有限公司	1993/7	中国広東省珠海市	即席めんの製造販売
	港永南食品(深圳)有限公司	1999/3	中国広東省深圳市	冷凍食品の製造販売
	日清食品(香港)管理有限公司	2001/7	中国・香港 タイポー地区	グループ間間接業務 サポート事業
	東莞日清包装有限公司	2013/11	中国広東省東莞市	即席めん包装資材の製造
	日清湖池屋(中国・香港)有限公司	2013/10	中国・香港 タイポー地区	スナック菓子の販売
	福建日清食品有限公司	2014/3	中国福建省廈門市	即席めんの製造販売
	浙江日清食品有限公司	2015/1	中国浙江省平湖市	即席めんの製造販売
米州	ニッシンフーズ(U.S.A.) Co., Inc.	1970/7	米国 カリフォルニア州ガーデナ市	即席めんの製造販売
	明星U.S.A. ,Inc.	1991/4	米国 カリフォルニア州チノ市	チルド食品の製造販売
	ニッシンフーズメキシコS.A. de C.V.	2005/10	メキシコ メキシコ州レルマ市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズコロンビアS.A.S.	2013/3	コロンビア共和国 ボゴタ市	即席めんの販売
	ニッシンフーズブラジルLtda. ※1	1975/5	ブラジル サンパウロ市	即席めんの製造販売
	ニッシンテクノロジーアリメントスブラジルLtda. ※1	2001/3	ブラジル サンパウロ市	即席めんの製造技術の提供
アジア	ニッシンフーズ(アジア)PTE. LTD.	1970/9	シンガポール ジュロン	アジアにおける統括会社
	ニッシンフーズ(シンガポール)PTE.LTD.	2015/5	シンガポール ジュロン	即席めんの製造販売
	インドニッシンフーズLTD.	1990/5	インド バンガロール市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズインドIA LTD.	2009/2	インド バンガロール市	即席めんの販売
	ニッシンフーズ ベトナムCO., LTD.	2011/3	ベトナム ヒンズン省	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズ(タイランド)CO., LTD.	1994/1	タイ バトゥムタニー県	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズ(インドネシア)CO.LTD. ※3	1992/6	インドネシア プカシ市	即席めんの製造販売
EMEA	ニッシンフーズKft.	2004/4	ハンガリー ケチュケメット市	即席めんの製造販売
	ニッシンフーズGmbH	1993/2	ドイツ フランクフルト市	即席めんの販売
	ニッシンユルドウズ	2012/9	トルコ サカルヤ県	即席めんの製造販売

【持分法適用関連会社】

地域	名称	設立	住所	主要な事業の内容
アジア	タイブレジデントフーズPub. Co., Ltd.	2006/12	タイ バンコク市	即席めんの製造販売
アジア	ニッシンユニバーサルロビナCorp. ※2	1994/10	フィリピン バシッグ市	即席めんの製造販売
ロシア	マルペンフードホールディングスLtd.	2009/1	キプロス共和国	即席めん事業を営む企業集団の持株会社

※1: ニッシンフーズブラジルLtda.及びニッシンテクノロジーアリメントスブラジルLtda.は2015年度3Qより連結子会社です。

※2: ニッシンユニバーサルロビナコーポレーション(本社: フィリピン)の業績は2015年度1Qより当社持分法損益へ反映(持分比率: 49.00%)されています。

※3: ニッシンフーズインドネシアは2016年度1Qより連結子会社です。

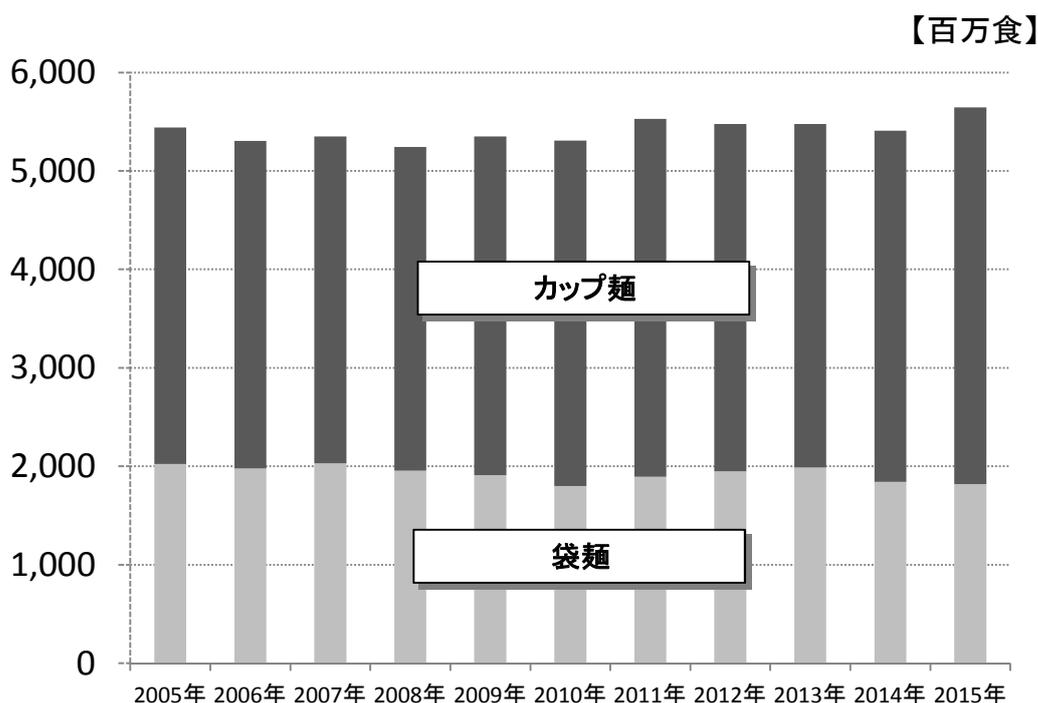
IR関連リリース

	発表日	内 容
2014年	1月16日	高成長市場開拓のため、新コンセプト即席麺を供給 インド日清、同国東部に新工場を稼働
	2月1日	香港での事業開始に関するお知らせ
	2月4日	ぼんち株式会社との資本業務提携に関するお知らせ
	3月7日	「株主優待制度」の変更に関するお知らせ
	3月14日	モロッコ現地法人設立及び製品販売 開始に関するお知らせ
	8月6日	中国生産子会社設立に関するお知らせ
	8月20日	PT NISSINMASの株式取得に関するお知らせ
	10月30日	株式会社フレンテ株式追加取得に関するお知らせ
	12月2日	NURC(フィリピン)の株式追加取得および持分法適用関連会社化に関するお知らせ
2015年	2月4日	会社人事について(日清食品(株)代表取締役社長、日清スコ(株)代表取締役社長)
	2月18日	アジア4ヶ国における三菱商事(株)との戦略的アライアンス契約締結に関するお知らせ
	3月4日	会社人事・機構改革について(米国総代表、米国日清(株)代表取締役社長)
	4月2日	会社人事について(独立社外取締役、独立社外監査役)
	5月7日	完全子会社(日清食品ビジネスサポート株式会社)との吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ
	8月27日	NISSIN-AJINOMOTO ALIMENTOS LTDA.(日清味の素アリメントス(ブラジル))の追加持分取得並びに連結子会社化に関するお知らせ
	10月7日	連結子会社の異動に関するお知らせ(NISSIN TECHNOLOGY ALIMENTOS DO BRASIL LTDA.)
	10月30日	NISSIN-AJINOMOTO ALIMENTOS LTDA.(日清味の素アリメントス(ブラジル))に関する 持分取得手続完了のお知らせ
	11月12日	平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ
	11月26日	今麦郎グループとの合弁契約解消並びに持分譲渡に関するお知らせ
	12月2日	自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ
	12月3日	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の取得結果、及び自己株式取得終了に関するお知らせ
	12月24日	三菱商事株式会社との戦略的アライアンスにかかる変更契約締結に関するお知らせ(インドネシア日清)
2016年	1月15日	ぼんち株式会社の追加株式取得並びに連結子会社化に関するお知らせ
	3月23日	英国大手食品メーカーとの業務提携契約に関する基本合意のお知らせ
	3月24日	Premier Foods plc の株式取得に関するお知らせ
	4月22日	Premier Foods plcとのRelationship Agreement締結に関するお知らせ
	5月9日	代表取締役および役員等の異動について

トピックス

2014年	7月16日	マンチェスター・ユナイテッドとグローバル・パートナーシップ契約を締結
	9月16日	(日清ヨーク)乳製品乳酸菌飲料、はっ酵乳を2014年10月1日(水)より価格改定
	9月29日	(日清食品)価格改定のお知らせ～2015年1月出荷分から～
	10月3日	(明星食品)価格改定のお知らせ 2015年1月1日(木)出荷分から
	11月10日	「HUNGRY TO WIN ～世界に、食ってかかれ～」マンチェスター・ユナイテッドとのグローバル・キャンペーンを本格始動!
	12月3日	(日清食品冷凍)出荷価格の改定のお知らせ～2015年3月1日(日)出荷分から～
	12月10日	(日清食品冷凍)冷凍パスタ商品の回収に関するお詫びとのお知らせ
2015年	4月13日	(日清食品)「カップヌードル」シリーズ6品(4月下旬よりリニューアル発売)
	5月14日	(日清スコ)「ごろっとグラノーラ」リニューアル 及び 生産ライン増設
	7月13日	プロテニスプレーヤー 錦織圭選手と所属契約を2020年まで更新
	8月25日	グローバル食品安全研究所(the WAVE)に「究理棟」新設
	11月4日	コーポレート・ガバナンスに関する報告書を東証TDnetにて公表
2016年	3月28日	日本初! 株価連動型社員食堂「KABUTERIA」をオープン!

国内即席めん類の袋めん・カップめん 総生産数量推移 (2005年～2015年)



(単位：百万食)

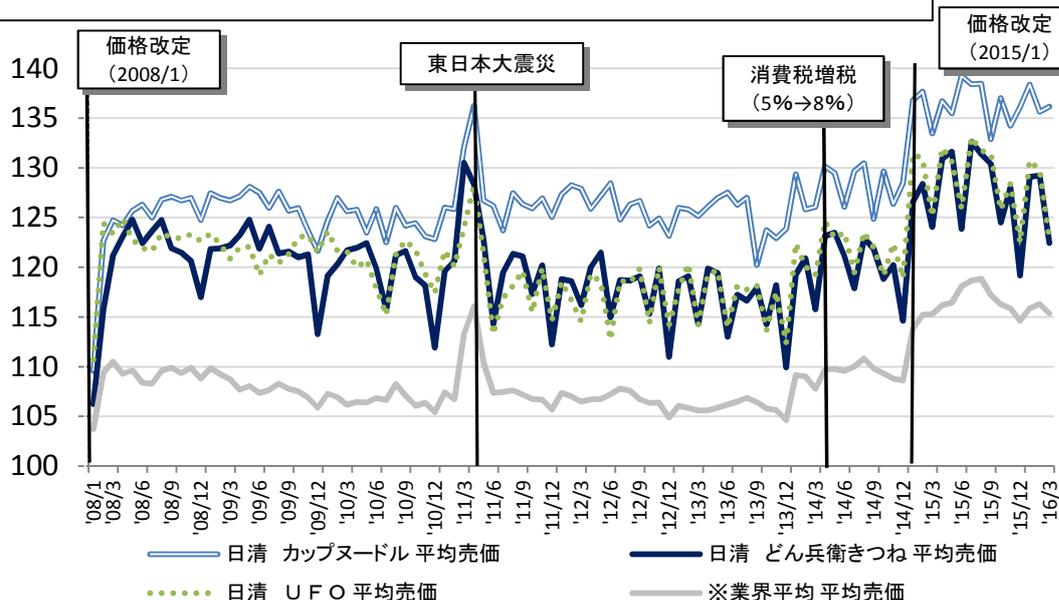
年度	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
カップ麺	3,419	3,327	3,319	3,290	3,438	3,510	3,635	3,527	3,487	3,566	3,825
袋麺	2,023	1,979	2,031	1,955	1,911	1,799	1,895	1,948	1,988	1,844	1,820
合計	5,442	5,305	5,349	5,245	5,349	5,309	5,530	5,476	5,475	5,410	5,645

【出所】一般社団法人 日本即席食品工業協会 (<http://www.instantramen.or.jp>)

年間の食数は4～3月ベースです。

主要製品 レギュラー製品量販店平均売価(税込) 推移 (2008/1-2016/3)

【単位：円】



※標準的な量の自社・他社製品全品(180円もの～PB製品・オープンプライス含む)

資料:当社調査/(税込売価)

国内即席めん類の総生産数量・総生産額推移（2013/4～2016/3）

【袋めん・カップめん合計】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2015年度	468	389	408	427	412	495	574	559	543	400	456	512	5,645	
	前年比	100.6	95.0	108.0	106.5	111.8	101.9	98.5	103.0	106.0	100.8	109.4	114.0	104.3	
	2014年度	466	410	378	401	368	486	583	543	512	397	417	449	5,410	
	前年比	95.9	94.1	104.6	102.8	103.1	109.1	103.6	97.1	96.9	102.4	94.4	86.3	98.8	
	2013年度	485	436	361	390	357	445	563	559	528	388	441	521	5,475	
	前年比	100.0	108.4	104.9	98.6	91.8	104.2	106.2	101.0	94.8	88.9	96.2	104.9	100.0	
総生産額 (百万円)	2015年度	47,189	39,097	41,805	43,758	42,045	50,341	58,806	57,476	56,654	41,648	46,722	52,279	577,820	
	前年比	104.6	98.0	112.4	110.5	116.8	107.7	102.9	107.0	111.2	103.7	112.5	116.0	108.4	
	2014年度	45,119	39,909	37,192	39,582	35,994	46,726	57,161	53,734	50,932	40,177	41,535	45,078	533,141	
	前年比	96.2	94.7	105.8	103.9	102.9	107.8	104.1	98.3	97.7	106.1	97.3	89.6	100.0	
	2013年度	46,880	42,163	35,163	38,103	34,977	43,350	54,908	54,653	52,106	37,874	42,706	50,333	533,217	
	前年比	97.4	105.5	101.6	95.7	90.3	103.1	107.6	102.1	95.1	89.2	96.4	106.5	99.3	

【袋めん】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2015年度	150	135	127	137	133	161	188	182	173	119	148	168	1,820	
	前年比	89.4	91.9	97.2	97.6	98.6	85.5	94.6	104.0	112.7	90.5	114.0	113.7	98.7	
	2014年度	168	147	130	140	135	188	199	175	153	132	130	148	1,844	
	前年比	92.8	90.0	95.0	95.5	102.6	114.6	96.7	90.5	85.2	98.2	81.3	76.7	92.7	
	2013年度	181	163	137	147	132	164	206	193	180	134	160	192	1,988	
	前年比	114.7	122.9	127.7	115.2	99.0	107.8	100.4	93.6	90.5	84.3	94.2	96.5	102.1	
総生産額 (百万円)	2015年度	10,944	10,011	9,418	10,192	9,967	11,794	14,073	13,457	12,830	8,799	10,798	12,326	134,609	
	前年比	90.4	94.0	98.7	99.0	102.0	88.4	100.1	108.4	118.9	91.9	118.0	116.1	101.7	
	2014年度	12,105	10,654	9,537	10,299	9,772	13,343	14,055	12,416	10,789	9,578	9,149	10,617	132,315	
	前年比	95.6	92.0	96.4	96.3	102.4	115.6	96.6	90.8	84.0	100.2	81.2	77.3	93.5	
	2013年度	12,666	11,574	9,894	10,694	9,544	11,547	14,547	13,669	12,840	9,558	11,273	13,741	141,549	
	前年比	113.0	120.6	126.8	113.8	98.2	106.7	101.3	94.5	91.6	86.0	96.2	98.6	102.4	

【カップめん】

（単位：百万食、%、百万円）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
総生産数量 (百万食)	2015年度	318	255	281	291	279	335	386	378	370	281	308	345	3,825	
	前年比	106.9	96.7	113.7	111.3	119.5	112.3	100.5	102.6	103.1	105.9	107.4	114.2	107.3	
	2014年度	298	263	247	261	233	298	384	368	359	265	287	302	3,566	
	前年比	97.8	96.5	110.5	107.2	103.5	105.8	107.5	100.6	103.0	104.6	101.9	91.9	102.3	
	2013年度	305	273	224	244	225	281	357	366	348	254	282	328	3,487	
	前年比	93.0	101.2	94.6	90.7	88.1	102.3	109.9	105.4	97.2	91.5	97.4	110.6	98.9	
総生産額 (百万円)	2015年度	36,245	29,086	32,388	33,566	32,078	38,547	44,734	44,019	43,825	32,849	35,924	39,952	443,211	
	前年比	109.8	99.4	117.1	114.6	122.3	115.5	103.8	106.5	109.2	107.4	110.9	115.9	110.6	
	2014年度	33,014	29,255	27,655	29,283	26,222	33,383	43,106	41,318	40,143	30,600	32,386	34,461	400,827	
	前年比	96.5	95.6	109.4	106.8	103.1	105.0	106.8	100.8	102.2	108.1	103.0	94.2	102.3	
	2013年度	34,214	30,589	25,269	27,408	25,433	31,803	40,362	40,984	39,266	28,316	31,433	36,592	391,668	
	前年比	92.6	100.7	94.2	90.1	87.6	101.8	110.1	104.9	96.3	90.3	96.5	109.7	98.3	

【ノンフライ麺（袋めん）】 ※JAS格付製品のみ

（単位：百万食、%）

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
ノンフライ麺 (非油処理) (百万食)	2015年度	42	30	31	34	38	35	40	39	43	27	34	40	432	
	前年比	87.6	69.3	83.4	71.4	104.4	81.9	96.3	82.9	122.2	89	108.2	118.7	91.0	
	2014年度	48	44	38	48	36	43	42	47	35	30	31	33	475	
	2013年度	61	53	46	51	44	42	71	69	55	46	54	66	660	

【出所】 一般社団法人 日本即席食品工業協会

即席めんの世界市場（地域別）（2011-2015年） ※1-12月期の集計

地域	国名／地域	人口 (100万人)	GDP (10億ドル)	一人当たり (米ドル)	総需要(億食) (1-12月累計)					2015年 一人当たりの 消費量／年
					2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
アジア	中国	1,374.6	10,983	7,990						
	香港	7.3	310	42,390	424.7	440.3	462.2	444.0	404.3	29.3
	インドネシア	255.5	859	3,362	145.3	147.5	149.0	134.3	132.0	51.7
	日本	126.9	4,123	32,486	55.1	54.1	55.2	55.0	55.4	43.6
	ベトナム	91.7	191	2,088	49.0	50.6	52.0	50.0	48.0	52.4
	韓国	50.6	1,377	27,195	35.9	35.2	36.3	35.9	36.5	72.1
	フィリピン	102.2	292	2,858	28.4	30.2	31.5	33.2	34.8	34.1
	インド	1,292.7	2,091	1,617	35.3	43.6	49.8	53.4	32.6	2.5
	タイ	68.8	395	5,742	28.8	29.6	30.2	30.7	30.7	44.6
	マレーシア	31.0	296	9,557	13.2	13.0	13.5	13.4	13.6	43.9
	ネパール	28.4	21	751	8.2	8.9	10.2	11.1	11.9	41.9
	台湾	23.5	524	22,288	7.6	7.8	7.5	7.1	6.8	28.9
	サウジアラビア	31.4	653	20,813	6.2	6.4	6.6	4.9	5.1	16.2
	ミャンマー	51.8	67	1,292	2.4	3.0	3.4	4.1	4.6	8.9
	カンボジア	15.5	18	1,168	2.6	2.6	2.4	2.5	2.7	17.4
	バングラデシュ	159.9	206	1,287	1.0	1.6	2.2	2.5	2.7	1.7
	パキスタン	186.2	270	1,450	1.2	1.3	1.3	1.5	1.6	0.8
	カザフスタン	17.7	173	9,796	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	7.9
	シンガポール	5.5	293	52,888	1.2	1.3	1.3	1.3	1.3	23.3
	ウズベキスタン	31.0	66	2,121	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	3.6
イラン	79.5	388	4,877	-	-	-	0.4	0.4	0.5	
トルコ	77.7	734	9,437	-	-	-	0.2	0.3	0.4	
小計	-	-	-	-	848.3	879.4	917.2	887.9	827.7	-
オセアニア	オーストラリア	24.0	1,224	50,962	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7	15.4
	ニュージーランド	4.7	172	37,045	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	17.5
	小計	-	-	-	4.1	4.3	4.3	4.4	4.5	-
北米	アメリカ	321.6	17,947	55,805	42.7	43.4	43.5	42.8	42.1	13.1
	カナダ	35.8	1,552	43,332	2.1	2.1	2.1	1.9	1.9	5.4
	小計	-	-	-	44.8	45.5	45.6	44.7	44.1	-
中南米	ブラジル	204.5	1,773	8,670	21.3	23.1	23.7	23.7	22.8	11.1
	メキシコ	127.0	1,144	9,009	8.5	8.9	9.2	8.9	8.3	6.5
	グアテマラ	16.3	64	3,929	-	-	0.8	1.5	1.9	11.7
	ペルー	31.9	192	6,021	0.6	0.7	0.8	1.2	1.3	3.9
	チリ	18.0	240	13,341	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	2.3
	コスタリカ	4.8	53	10,936	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.6
	コロンビア	48.2	293	6,084	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
小計	-	-	-	30.7	33.0	34.9	35.8	34.8	-	
ヨーロッパ	ロシア	146.3	1,325	9,055	20.6	20.9	21.2	19.4	18.4	12.5
	ウクライナ	45.2	91	2,005	5.4	5.6	5.8	5.8	6.0	13.3
	イギリス	65.1	2,849	43,771	3.4	3.5	3.7	3.7	3.7	5.7
	ポーランド	38.0	475	12,495	2.9	2.7	2.6	3.0	3.1	8.1
	ドイツ	81.9	3,358	40,997	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	2.2
	チェコ	10.5	182	17,257	1.0	0.9	0.9	0.6	0.9	8.1
	フランス	64.3	2,422	37,675	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.9
	スペイン	46.4	1,200	25,865	-	-	-	0.4	0.5	1.1
	スウェーデン	9.9	493	49,866	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	3.3
	ハンガリー	9.9	121	12,240	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	2.4
	オランダ	16.9	738	43,603	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.4
	デンマーク	5.7	295	52,114	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	3.6
	ベルギー	11.3	455	40,107	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	1.4
	イタリア	60.8	1,816	29,867	-	-	-	0.1	0.2	0.2
	フィンランド	5.5	230	41,974	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	2.5
スイス	8.2	665	80,675	-	-	-	0.1	0.1	1.5	
小計	-	-	-	36.6	37.1	37.7	36.8	36.5	-	
アフリカ	ナイジェリア	178.7	490	2,743	12.6	13.4	14.3	15.2	15.4	8.6
	エジプト	88.4	331	3,740	1.2	1.5	1.7	1.9	2.0	2.3
	南アフリカ	55.0	313	5,695	1.5	1.7	1.7	1.9	1.9	3.4
	エチオピア	89.8	62	687	-	-	-	0.4	0.5	0.5
	小計	-	-	-	15.4	16.5	17.7	19.4	19.7	14.3
その他	-	-	-	2.2	2.3	2.5	9.4	9.8	-	
合計	-	-	-	982.2	1,018.0	1,059.9	1,038.5	977.1	-	

【出典】

※総需要(億食):世界ラーメン協会(WINA)

※人口・GDP・一人当たりGDP: International Monetary Fund(IMF)の2015年データ(2016年4月18日ダウンロード)

【注釈】

※一人当たりの消費量:人口と2015年の総需要に基づき算出

※一部、遡及修正している国・地域があります。

国内各事業の市場データ

■国内即席麺

国内即席麺市場・生産数量・前年同月比【出所】一般社団法人 日本即席食品工業協会

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期間累計
2015年度	即席麺 計	+0.6%	-5.0%	+8.0%	+6.5%	+11.8%	+1.9%	-1.5%	+3.0%	+6.0%	+0.8%	+9.4%	+14.0%	+4.3%
	袋麺 生産数量	-10.6%	-8.1%	-2.8%	-2.4%	-1.4%	-14.5%	-5.4%	+4.0%	+12.7%	-9.5%	+14.0%	+13.7%	-1.3%
	カップ麺 生産数量	+6.9%	-3.3%	+13.7%	+11.3%	+19.5%	+12.3%	+0.5%	+2.6%	+3.1%	+5.9%	+7.4%	+14.2%	+7.3%
2014年度	即席麺 計	-4.1%	-5.9%	+4.6%	+2.8%	+3.1%	+9.1%	+3.6%	-2.9%	-3.1%	+2.4%	-5.6%	-13.7%	-1.2%
	袋麺 生産数量	-7.2%	-10.0%	-5.0%	-4.5%	+2.6%	+14.6%	-3.3%	-9.5%	-14.8%	-1.8%	-18.7%	-23.3%	-7.3%
	カップ麺 生産数量	-2.2%	-3.5%	+10.5%	+7.2%	+3.5%	+5.8%	+7.5%	+0.6%	+3.0%	+4.6%	+1.9%	-8.1%	+2.3%
2013年度	即席麺 計	+0.0%	+8.4%	+4.9%	-1.4%	-8.2%	+4.2%	+6.2%	+1.0%	-5.2%	-11.1%	-3.8%	+4.9%	-0.0%
	袋麺 生産数量	14.7%	+22.9%	+27.7%	+15.2%	-1.0%	+7.8%	+0.4%	-6.4%	-9.5%	-15.7%	-5.8%	-3.5%	+2.1%
	カップ麺 生産数量	-7.0%	+1.2%	-5.4%	-9.3%	-11.9%	+2.3%	+9.9%	+5.4%	-2.8%	-8.5%	-2.6%	+10.6%	-1.1%

■低温セグメント

市販用チルド麺市場 日清推定 前年度比

2015年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-0.4%	-3.2%	+3.2%	-1.2%	+0.1%	+1.8%	-13.4%
数量	-2.5%	-3.4%	-1.1%	-1.6%	-1.0%	-1.8%	-21.0%
2014年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-4.6%	-5.0%	-3.2%	-2.1%	-11.6%	-6.2%	-6.0%
数量	-3.1%	-3.5%	-2.2%	-1.0%	-10.5%	-4.9%	-5.0%
2013年度	全体	うどん	ラーメン	焼そば	冷し中華	そば	スパ
金額	-5.4%	-5.7%	-6.3%	-4.8%	-6.4%	-5.2%	+10.0%
数量	-2.2%	-3.5%	-2.7%	-1.6%	-4.3%	-1.3%	+25.6%

市販用 調理冷蔵市場 日清推定 前年度比

2015年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	+0.7%	+9.7%	+0.3%
数量	-2.3%	+5.0%	-2.5%
2014年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	-0.4%	+1.3%	+1.9%
数量	-0.2%	+2.4%	+2.4%
2013年度	冷蔵全体	米飯	麺類
金額	+4.0%	+0.0%	+7.0%
数量	+4.0%	+2.0%	+8.0%

冷凍麺のみ(弁当含まず)

2015年度	冷凍麺				
	ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
冷凍麺合計	+0.8%	+11.2%	+0.1%	-6.5%	+0.9%
	-1.7%	+9.0%	-0.1%	-9.5%	-4.7%
2014年度	冷凍麺				
冷凍麺合計	ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
	+2.1%	+2.3%	-1.6%	-17.9%	+0.3%
	+2.6%	+2.9%	-0.5%	-18.6%	+0.4%
2013年度	冷凍麺				
冷凍麺合計	ラーメン	うどん	そば	焼そば	スパ
	+7.0%	-3.0%	-1.0%	+9.0%	-4.0%
	+8.0%	-7.0%	+0.0%	+2.0%	+21.0%

■菓子・飲料セグメント

シリアル市場 日本スナック・シリアルフーズ協会 前年比(1月-12月)

2015年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+25.8%	-9.6%	-13.3%	+50.6%	-3.2%
数量	+27.7%	-7.9%	-11.9%	+49.3%	+3.7%
2014年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+25.5%	-6.4%	-15.8%	+68.0%	-3.6%
数量	+29.7%	-3.5%	-14.6%	+69.1%	-3.5%
2013年	全体	コーンフレーク	玄米フレーク	グラノーラ	その他
金額	+14.5%	-6.4%	+10.6%	+55.2%	-4.0%
数量	+16.3%	-5.7%	+12.0%	+53.4%	-2.2%

乳酸菌飲料市場 参照:日清ヨーク調べ 前年比(4-3月)

	乳酸菌飲料	ドリンクヨーグルト
2015年度	金額	-1.3%
	金額	+18.0%
2014年度	金額	-2.7%
	金額	+17.3%



(2897)

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場の大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

< お問い合わせ先 >

日清食品ホールディングス株式会社 IR室

〒160-8524 東京都新宿区新宿6-28-1

TEL : (03) 3205-5027 FAX : (03) 3205-5179

e-mail : ir.jp@nissin.com